

令和6年度公益財団法人せたがや文化財団の経営状況に関する書類の提出

1. 実施事業

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
共催展示 世田谷のまちと暮らしのチカラ ―まちづくりの歩み50年―	18,303人	ミュージック・ラウンジ	700人
アウト・オブ・民藝「民」から芽づる編 MINGEIのB面！	24,761人	異分野とのコラボレーション	284人
山下陽光のおもしろ金儲け実験室	30,579人	室内楽シリーズ	783人
PART OF THE ANIMAL ―動物と人間のあいだ	37,699人	せたがやジュニアオーケストラ	1,013人
生活工房常設展示	70,807人	〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 世田谷区民会館柿落し公演、特別編「宮川彬良まつり」、東京フィルハーモニー交響楽団開館記念特別演奏会、せたがやジュニアオーケストラ特別演奏会、世田谷アーティスト支援企画Discovery Setagaya Sounds、せたがやMusicフェス	4,318人
老人性アメイジング！Vol.2 寿ぎと分解	246人	せたがやまちかど・まちなかコンサート、せたがや名曲コンサート、連携コンサート ほか	
セミナーシリーズ「対話の効能〈わたし〉と〈あなた〉のあわいVol.2」、 ワークショップ「世田谷うまれのリソグラフ®印刷であそぼう！」、「せたがやアカカブの会」、「エトセトラの時間」、「ちかくのとーく」ほか			
総入場者数	221,367人	総入場者数	11,845人
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
芸術監督企画 『Medicine メディスン』	19,063人	サイモン・スティーヴンス ダブルビル 『ポルノグラフィ PORNOGRAPHY / レイジ RAGE』	2,758人
橋本ロマンス演出・振付 『饗宴/SYMPOSION』	1,274人	海外招聘ダンス タンツマインツ『PROMISE』	1,374人
芸術監督企画 『セツアンの善人』	8,110人	フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・バレエ部門)、移動劇場『あっとホーム公演』、学校のためのワークショップ、せたがやアートファーム2024『空中ブランコのりのキキ』『せたがや夏いちらくご』『ASA-CHANG小辻太一ワークショップ』、地域の物語、サーカス・シルクール『ニッティング・ピース』 ほか	
ノゾエ征爾演出 『ロボット』	5,288人	総入場者数	173,377人
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	4,927人	外国人のための日本語教室	76人
まち歩き	93人	せたがや日本語サポーター講座	185人
にほんご交流会	365人	区内活動団体の支援事業(せたがや国際交流センター館内展示企画連携)、区民国際交流事業(せたがや国際メッセ、国際交流INせたがや2024) ほか	
多文化理解講座	309人	総入場者数	8,411人
世田谷文化生活情報センター			
世田谷アートタウン2024『三茶de大道芸』	171,000人		
世田谷美術館		世田谷文学館	
美術家たちの沿線物語 小田急線篇	2,146人	伊藤潤二展 誘惑	77,198人
民藝 MINGEI ―美は暮らしのなかにある	58,624人	シーズン展示 小説と映画の世紀展 追悼・菅野昭正名誉館長	2,542人
生誕130年 没後60年を超えて 「須田国太郎の芸術―三つのまなざし」	9,051人	漫画家・森薫と入江亜季 展 ―ペン先が描く緻密なる世界―	36,001人
生誕130年記念 北川民次展 ―メキシコから日本へ	13,683人	コレクション展前期 小堀杏奴油彩画展～滞欧作を中心に～ 同時開催「ムットーニ コレクション」	6,561人
東急 暮らしと街の文化	21,065人	コレクション展後期 世田谷文学館コレクション展 寺山修司展 同時開催「ムットーニ コレクション」	19,603人
世田谷美術館コレクション選 緑の惑星―セタビの森の植物たち	8,210人	ライブラリー「ほんととわ」の運営	24,667人
本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め 年4回)、各分館収蔵品展(年2回)	57,590人	どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育普及事業)	385,957人
講座・ワークショップ、鑑賞教室 ほか		幼保連携事業、企画展・コレクション展・ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業、セタブンマーケット、ホームページコンテンツ制作、「ほんととわラジオ」放送 ほか	
総入場者数	334,369人	総入場者数	566,685人

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目		公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
		公1	公2	小計	収1	収2	小計			
		文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
	基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,599,958		2,599,958
	特定資産運用益	1,261,308	0	1,261,308	0	0	0	0		1,261,308
	事業収益	1,476,913,806	387,397	1,477,301,203	88,418,592	3,149,470	91,568,062	0		1,568,869,265
	受取区補助金	1,169,689,487	51,081,000	1,220,770,487	0	0	0	97,098,410		1,317,868,897
	受取助成金等	101,434,893	1,331,000	102,765,893	0	0	0	0		102,765,893
	受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0		0
	受取負担金	6,564,148	0	6,564,148	186,353	6,640,031	6,826,384	0		13,390,532
	雑収益	164,769	0	164,769	476,726	0	476,726	184,822		826,317
経常収益計(A)		2,756,028,411	52,799,397	2,808,827,808	89,081,671	9,789,501	98,871,172	99,883,190		3,007,582,170
(2) 経常費用										
	事業費	2,737,168,141	52,673,452	2,789,841,593	45,120,092	7,708,591	52,828,683	0		2,842,670,276
	管理費			0			0	103,808,325		103,808,325
経常費用計(B)		2,737,168,141	52,673,452	2,789,841,593	45,120,092	7,708,591	52,828,683	103,808,325		2,946,478,601
当期経常増減額(C)=(A-B)		18,860,270	125,945	18,986,215	43,961,579	2,080,910	46,042,489	△ 3,925,135		61,103,569
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益		25,890	0	25,890	0	0	0	0		25,890
経常外収益計(D)		25,890	0	25,890	0	0	0	0		25,890
(2) 経常外費用		5	0	5	0	0	0	0		5
経常外費用計(E)		5	0	5	0	0	0	0		5
当期経常外増減額(F)=(D-E)		25,885	0	25,885	0	0	0	0		25,885
他会計振替前当期一般正味財産増減額(G)=(C+F)		18,886,155	125,945	19,012,100	43,961,579	2,080,910	46,042,489	△ 3,925,135		61,129,454
他会計振替額(H)		22,056,649	0	22,056,649	△ 21,059,789	△ 996,860	△ 22,056,649			0
法人税、都民税及び事業税(I)		0	0	0	6,654,702	314,998	6,969,700	0		6,969,700
当期一般正味財産増減額(J)=(G+H-I)		40,942,804	125,945	41,068,749	16,247,088	769,052	17,016,140	△ 3,925,135		54,159,754
一般正味財産期首残高(K)		658,398,262	27,803,931	686,202,193	143,845,652	16,349,558	160,195,210	△ 5,540,444		840,856,959
一般正味財産期末残高(L)=(J+K)		699,341,066	27,929,876	727,270,942	160,092,740	17,118,610	177,211,350	△ 9,465,579		895,016,713
II 指定正味財産の部										
	受取寄附金	1,462,753	0	1,462,753	0	0	0	0		1,462,753
	基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,599,958		2,599,958
	一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	2,599,958		2,599,958
	当期指定正味財産増減額(M)	1,462,753	0	1,462,753	0	0	0	0		1,462,753
	指定正味財産期首残高(N)	8,790,978	0	8,790,978	0	0	0	800,000,000		808,790,978
	指定正味財産期末残高(O)=(M+N)	10,253,731	0	10,253,731	0	0	0	800,000,000		810,253,731
III 正味財産期末残高(P)=(L+O)		709,594,797	27,929,876	737,524,673	160,092,740	17,118,610	177,211,350	790,534,421		1,705,270,444

令和6年度
公益財団法人せたがや文化財団

事業報告書
財務諸表

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業報告書)

1	令和6年度事業報告総括	1
2	事業実績	11
3	事業評価	48
4	重要な契約の概要	53
5	登記事項	54
6	理事会・評議員会開催状況	55
7	役員名簿	57
8	評議員名簿	58
9	財団幹部名簿	59

(財務諸表)

1	貸借対照表	62
2	損益計算書（正味財産増減計算書）	63
3	附属明細書	78
4	財産目録	79

(監査報告)

監査報告書	82
-------------	----

事業報告書

1. 令和6年度事業報告総括

(1) 財団全体の取組

せたがや文化財団は、世田谷区の文化・芸術振興におけるパートナーとして、財団の定款の目的に掲げる「幅広い文化・芸術事業の展開と多様な文化創造活動や市民活動などの支援」の実現に向け、取組みを進めてきた。

令和6年度のせたがや文化財団は、各館の事業をコロナ禍前の状態に戻して実施した結果、財団全体での施設入場者・事業参加者は前年度を大きく上回り、130万人を超えるものとなった。特に世田谷文学館では「伊藤潤二展 誘惑」が世界中から来館者を集め、同館の展覧会入場者数が歴代1位となったほか、他の展覧会も好評で、同館だけでも56万人を超える来館者があった。世田谷パブリックシアターでは、「Medicine メディسن」を始め、「セツアンの善人」、「ロボット」などを上演し、一部はツアー公演も実施するとともに、海外招聘公演にも積極的に取り組み、好評を得た。また、夏休み期間には、子どもから大人まで楽しめる多彩な企画を取り揃えた「せたがやアートファーム」事業を開始した。音楽事業部では、8月の新世田谷区民会館（せたがやイーグレットホール）の柿落し公演から、3月のせたがやジュニアオーケストラ定期演奏会に至るまで、オープニングイベントを順次実施するとともに、様々な事業をこのホールで行うことにより、文化・芸術の拠点施設として世田谷区民会館の定着を図った。世田谷美術館では、＜企業と美術＞シリーズとして、「東急 暮らしと街の文化」を実施し、美術愛好家だけでなく、鉄道や街づくりなどに関心のある客層を取り込むことができた。さらに、財団内部の連携事業として、世田谷美術館の「民藝 MINGEI—美は暮らしの中にある」展と会期を合わせて開催した生活工場の「アウト・オブ・民藝」展など、当財団ならではの事業を展開した。

財団では引き続き、コンプライアンス方針に基づき社会的責任を果たすべく、また、仕事と介護や育児が両立できるよう制度を整えるなど、働きやすい職場の実現と公正な業務の遂行に努めた。財務面では、公益目的事業比率（注）は概ね9割を超えており、損益は経常収益が30億758万余円、経常費用が29億4,647万余円で、当期経常増減額は6,110万余円の増となった。

通商政策などアメリカの政策動向や金融資本市場の変動、物価の高騰等、先行きを見通すことは困難な社会経済状況が続いている。このような時だからこそ、財団は、文化・芸術が持つ力を最大限に発揮し、人々を繋ぎ、次世代が希望を持ち続けるための一助となるような取組みを、区とともに進めていく。

（注）公益目的事業比率：公益法人の活動全体における公益目的事業活動の割合がその費用額において、50％以上であることを求めるもの（公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第15条）

各事業部の事業参加者・施設入場者数の推移（人）

年度	生活工房	パブリックシアター	音楽事業部	国際事業部	世田谷美術館	世田谷文学館	合計
令和 6(2024)	221,367	173,377	11,845	8,411	334,369	566,685	1,316,054
令和 5(2023)	152,692	211,081	7,488	8,142	287,092	343,871	1,010,366
令和 4(2022)	159,741	214,182	6,350	7,056	352,362	375,167	1,114,858
令和 3(2021)	212,399	147,748	2,608	5,047	276,315	270,977	915,094
令和 2(2020)	44,163	100,974	3,189	2,214	151,349	165,620	467,509

（オンライン参加者数を含む。世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は含まず）

(2)各事業部事業

≪世田谷文化生活情報センター≫

① 生活工房

生活工房は、区民の暮らしに身近な文化施設として、「暮らしをデザインする」をコンセプトに、デザインやアート、生活文化をテーマにした展覧会や、年齢や障害の有無にかかわらず様々な人たちが交流・対話する場となるワークショップ、セミナー等を実施した。施設の維持管理を適切に行い、運営にあたっては、来場者が快適な時間を過ごせるような環境づくりに努めた。市民活動団体とも連携し、多くの方が文化・芸術に触れあう機会を広げた。ホームページや情報誌で事業を広報するとともに、様々な創作・表現活動の魅力を伝え、積極的な情報発信に取り組んだ。映像アーカイブの活用や、動画コンテンツの一層の充実も図った。

公1-2「文化芸術の啓発、体験に資する展覧会」

世田谷美術館の「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」展と会期を合わせて開催した「アウト・オブ・民藝」展では、柳宗悦の提唱した「民藝」の周縁をめぐるリサーチ活動を行うデザイナーの軸原ヨウスケと美術家の中村裕太が、黎明期の民藝運動と、今日のライフスタイルとしての「MINGEI」との食い合わせを、「民」という文字からひも解いていった。

「山下陽光のおもしろ金儲け実験室」展では、リメイクファッションブランド「途中でやめる」のデザイナー、山下氏の仕事場とショップが会場に入居し、作品制作、実演、ライブ、突発開催のイベントなど、連日アクティブな、様々な実験が繰り広げられた。

「PART OF THE ANIMAL—動物と人間のあいだ」展は、絵に描くだけではない、詩や音楽や、演劇、踊りをも包括した〈動物をえがく〉ことについて、研究者たちが世界をフィールドに行なった調査やアーティストたちの思索をたどりながら「動物と人とのあいだ」の回路をひらく展示となった。

常設の展示コーナーでは、区内で収集した8ミリフィルムのアーカイブ「世田谷クロニクル」の中から、月替わりで作品を上映した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

「日常を見限らない vol.4 バランスのワークショップ」では、独立研究者の森田真生氏の講演、三鷹天命反転住宅の「見学体験ツアー」と「身体発見ダンス」のワークで、環境や身体におけるバランスについて学び、体験した。

「対話の効能—〈わたし〉と〈あなた〉のあわい」は、私たちの日常生活における「対話」の可能性について考えるセミナーの第2弾。今回は「自助グループとグループカウンセリング」、「修復的正義」、「当事者研究」など、対話を通じて人々の〈生きづらさ〉にアプローチする様々な方法が紹介され、グループワークで体験することで、知識を得るだけでなく、実践の場となった。

「老人性アメイジング！ vol.2 寿ぎと分解」は、村瀬孝生氏によるユーモア溢れる介護トークと、坂本姉妹のピアノ演奏、藤原辰史氏の講演など多彩なコンテンツを通じて、ネガティブに捉えがちな「老い」を豊かなものとして捉え直す試みとなった。

夏休み期間には、市民の手作り企画として回を重ねるおはなし会「第23回 おはなしいっぱい」を実施した。5年ぶりの対面開催となり、多彩な演目を幅広い年代の参加者が楽しんだ。

8ミリフィルム映像のアーカイブの活用を進める「穴アーカイブ」では、映像を囲んで鑑賞する「アカ

カブの会」、障害のある人となない人が一緒に映像を鑑賞するオンライン・ワークショップ「エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会」を実施した。

事業アーカイブの充実と活用促進にも力を入れ、セミナーやワークショップの記録動画を順次公開した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

事業や施設について常に的確な情報を届けるため、ウェブサイトや館内掲示等を随時更新した。ウェブサイトの記事を充実させ、暮らしの中にある様々な創作・表現活動の魅力を伝えた。メディアへの情報提供とともにSNSも活用し、効果的な情報発信に取り組んだ。

情報誌「季刊 生活」や年次報告書「アニュアルレポート」を編集、発行した。情報と共に紙媒体のデザインの魅力を伝える体裁や装丁とした。

公1-8「文化芸術の拠点施設の管理運営」

指定管理者として、セミナールーム、ワークショップルームの管理運営、貸館業務を適切に行った。音響や可動壁、備品のメンテナンスと修繕を行い、設備の長寿命化と、利用者が安全で快適に利用できる環境の維持を図った。

来場者・利用者をサポートするため、施設に関する情報の随時更新と提供、職員間での情報共有を行い、サービスの向上にも努めた。

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

世田谷区内で活動する市民活動団体の支援を目的に、運営団体と協働し、「市民活動支援コーナー」の管理運営を行った。イベントでは、世田谷区内で地域に貢献する活動に取り組む団体や個人を囲むトークイベント「ちかくのとーく」を、対面とオンラインでシリーズ開催した。また、夏休み期間中には、「世田谷うまれの印刷機」である「リソグラフ」を活用し、創作ワークショップを行った。

② 世田谷パブリックシアター

世田谷パブリックシアターは、1997年に開場し、主劇場（世田谷パブリックシアター）とシアタートラムの2つの劇場と大小3つの稽古場を中心に、「新しい作品とレパートリーの創造」、「国際的な共同制作」、「地域や学校その他の区内施設との連携」、「普及啓発・人材養成事業」、「国内の公共劇場との連携」等を柱に、国内外に発信する創造型の公共劇場として活動している。令和4年度から芸術監督が白井晃に交代し、新たな展開を図っている。

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

国内演劇創作事業として、主劇場で2本、シアタートラムで3本の作品を上演した。主劇場では7月に『饗宴/SYMPOSITION』、10～11月に『セツアンの善人』を上演。トラムでは5～6月に『Medicine メディスン』、11～12月に『ロボット』、2～3月に『ポルノグラフィ PORNOGRAPHY/レイジ RAGE』を上演した。このうち3作品はツアー公演を実施し、好評を得た。令和6年度はコロナ禍の影響も比較的小さくなったが、感染症を原因とする公演中止の危険性が去ったわけではなく、引き続き感染症対策を徹底して事業を実施するとともに、一部公演ではアンダースタディ（代役）を準備するなどの工夫を凝らすことで、中止公演を出すことなく舞台成果を最後まで観客に届けることができた。また、台風等の天災の影響でツアー先での上演が危ぶまれるケースも発生したが、現地主催者と緊密に連携することで、最終的に公演中止の事態を避けることができた。

上演作品は一部観客動員が目標に届かない公演もあったが、ツアー公演を含めて健闘したと考えている。また、いずれの作品も各種メディアに好意的な劇評が掲載されるなど、高い評価をいただいた。『ロボット』は第32回読売演劇大賞において、優秀スタッフ賞（山本貴愛）を受賞した。また、白井晃芸術監督が自ら演出した『Medicine メディシン』や『セツアンの善人』では、芸術監督によるレクチャーを実施したり、近隣の大学や高校の学生・生徒に対する特別講義を実施するなど、多角的な取り組みを実施した。

夏休み期間には、劇場をアートで満たされた「農園」にするというコンセプトで、子どもから大人まで楽しめる多彩な企画を取り揃えた“せたがやアートファーム”事業を新たにスタートさせた。現代サーカスの要素を取り入れた音楽劇『空中ブランコのりのキキ』、夏の定番事業として定着してきた春風亭一之輔プロデュースによる寄席企画『せたがや夏いちらくご』を上演すると同時に、各種のワークショップを展開してアートに触れ合う機会を提供した。これらの作品の上演にあたっては文化庁子供舞台芸術鑑賞体験支援事業などの補助金を活用するなど、積極的にファンドレイズを行った。また、文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」に採択されことを受け、令和6年度から最大5年間をかけて次代を担う若手クリエイター、アーティスト、スタッフ等の育成事業を展開することとなった。

ダンス/演劇の提携公演では、劇場が注目する次世代のアーティストやカンパニーを招聘し、公演をサポートする「フィーチャード・シアター」事業を開始し、さらに幅広い事業展開を行った。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

コミュニティプログラムや学校プログラムは、新型コロナウイルスの影響が最も大きかった事業の一つであるが、コロナ以前の規模・頻度への復旧を進めることができた。単純にコロナ以前に戻すということではなく、コロナ禍の中での事業実施によって蓄積された経験や知見も活用し、事業の見直しや再検討を併せて実施した。

学校でのワークショップなど、劇場外での事業もコロナ以前の状況にかなり近いところまで回復してきた。地域連携プログラムとして劇場近隣の下馬地区で実施しているアートプロジェクト「極楽フェス」は地域のお祭として定着し、多くの参加者を得た。また、「極楽フェス」を契機として制作した障害当事者のライフヒストリーを演劇化した『ともにやの部屋』が文化庁ユニバーサル公演事業、東京都インクルーシブ体験プログラムに採択され、日本全国で上演を行った。

開場以来の区民参加型企画「地域の物語」は、令和6年度は従来の「発表会」ではなく拡大ワークショップとして実施するなど、新機軸を導入して実施した。

高齢者施設や障害者施設を訪問して行う「移動劇場あっとホーム公演」も令和6年度はコロナ以前と同等の規模で訪問上演を実施することができた。区教育委員会からの受託事業「古典芸能鑑賞教室」は、新世田谷区民会館の開館が遅れたこともあり、前年度に続いて学校の体育館に出向く形で実施した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

開場以来、区民が舞台に立つ機会として恒例となってきた「フリーステージ」は、出演者間の感染予防に細心の注意を払いつつも、ほぼコロナ以前の状態に復することができた。

また、若手実演家育成事業「シアタートラム・ネクストジェネレーション」は、応募者が固定化する傾向が見られたこともあり、令和5年度から「フィジカル」と「ドラマ」の2部門制とし、毎年交互に募集することとした。今回は「ドラマ」部門を実施した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

秋の恒例事業となった世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は、海外アーティストの招聘を含めてほぼコロナ以前の状態に戻しての実施となった。さらに、近隣の大学や区立図書館とも連携して規模を拡大させており、天候にも恵まれて多くの来場者を集め、三軒茶屋の街に賑わいが戻った。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

劇場ホームページを大幅に刷新し、広報紙誌、マスコミ媒体等を通じた発信と併せて、劇場の活動を広く区民等に発信した。

また、学芸事業のニュースレター『学芸プログラム通信』やテーマごとに事業を詳細に紹介する冊子『CarroMag(キャロマグ)』も発行した。

公1-7「国際交流のための文化芸術事業」

急激な為替変動や国際輸送費の高騰など、海外との交流事業には強い逆風が吹いているが、その中でも4本の海外招聘作品を上演した。令和6年度は現代サーカス作品の紹介に特に力を入れ、全国各地でもツアー公演をおこなったサーカス・シルク『ニッティング・ピース』に加え、「せたがやアートファーム」でもマシーン・ドウ・シルク『ゴースト・ライト』、ル・グロ・オルティユ『図書館司書くん』というファミリー向けの作品2本を招聘した。さらに、タンツマインツ『PROMISE』で最先端のコンテンポラリーダンスを紹介した。

③ 音楽事業部(せたおん)

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

「せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート」は、新しくなった世田谷区民会館に戻って開催。セクションごとのアンサンブルだけでなく、全体での合奏も演奏。終演後には、メンバーが指導役になって、楽器体験のワークショップも実施した。

「室内楽シリーズ」は、2企画を実施。『金川真弓 & 久末航』は、室内楽の会場としては大きい世田谷区民会館だったが、世界で活躍する2人が素晴らしい演奏をした。金川は、子どもたち対象のワークショップも実施した。『上野通明 & 北村朋幹』は、気鋭の2人にふさわしい意欲溢れる内容で、完売となった会場を沸かせた。

「シリーズ和・華・調」は、世田谷区民会館の柿落し公演として、開催。厳かな『一番太鼓の儀』に始まり、二人の女方による歌舞伎舞踊『雛鶴三番叟』、今藤政太郎作曲の長唄『螢』という豪華なプログラムで、会場を埋めた区民と共に、新しい会館の始まりを祝った。

「宮川彬良まつり」は、おなじみ「せたがや音楽研究所」のオープニングイベント特別編。オーケストラを迎え、区民からの熱い声援を受けて、祝祭感のある公演となった。

「東京フィルハーモニー交響楽団 開館記念特別演奏会」は、せたがやジュニアオーケストラと連携している東京フィルハーモニー交響楽団が登場。怪我により、指揮者が急に変わったにもかかわらず、見事な演奏を披露した。

「ミュージック・ラウンジ」は、好評に応え、3企画を実施。ジャズのサックス・カルテット、リズム&ブルース、ヴォーカル・ユニットと、三者三様の楽しみ方ができるライブを提供した。

池辺晋一郎音楽監督企画『異分野とのコラボレーション』は“鉄道と音楽”がテーマ。トークと共に、鉄道に因む名曲をジャズのアレンジで楽しませた。

支援しているアマチュア団体、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団による『せたがや名曲コンサート』。地味ながら、美しいフォーレのレクイエムを演奏。広報や販売方法を工夫して、多くの来場者を得た。

「連携コンサート」は、2企画実施。世田谷美術館の「須田国太郎の芸術」展関連企画として、ギタリスト2人によるライブを主催したほか、連携する川崎市の毎年恒例「かわさきジャズ2024」に世田谷区からのゲストバンドを派遣した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

「音楽講座」では、小学生対象のワークショップ『せたおん夏休みスペシャル』を開催。また、カバー曲の楽しみを伝える『マイ・プレイリスト』と区民のレコード愛好家と共につくった『せたおん音盤ミーティング』、2つのトークイベントを開催、記録のフリーペーパーを発行した。

「せたがやジュニアオーケストラ」は、15周年を迎え、充実した活動を行った。「交流イベント」として、下北沢音楽祭に参加。2つに分かれて、アンサンブル公演を実施した。また、川場村で夏合宿を行い、力をつけた。

締めくくりの定期演奏会は、世田谷区民会館オープニングイベントの一環となる「特別演奏会」として開催。連携オーケストラである東京フィルハーモニー交響楽団との合同演奏も行い、その成果を満場の区民に示した。

「学校への訪問企画」を復活させて、区立の小・中学校5校で、各校の要望に合わせたコンサートやワークショップを実施した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

「世田谷アーティスト支援企画『Discovery Setagaya Sounds』」は、世田谷区民会館オープニングイベントの特別公演『Setagaya Super Band NIAGARA SUNDAY』を開催。井上鑑をはじめポップス界の重鎮を集め、評判を呼んだ。

区内で活動するアマチュアの音楽団体を募って、世田谷区民会館で発表する「せたがや Music フェス」を実施。オープニングイベントで唯一の区民参加型コンサートとなり、バラエティに富んだ内容で、好評だった。

「世田谷区民音楽団体の支援」は、今年度も、世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団の3団体の活動を支援した。各団体とも、定期演奏会には多数の聴衆を集めた。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

「まちかど・まちなかコンサート」は、多彩な展開をした『まちなかコンサート』が人気。『カントジフア きぬたの街角で』は、世田谷美術館入口前の野外でも演奏したほか、『宇宙を旅する「小さな音楽会」』、『福原みほ アコースティック・クリスマス』は、入場方法も工夫して、それぞれ2回の公演がほぼ満席だった。夏休みには、子どもたちや家族連れに向けた『まちかどコンサート』を実施した。

今年度も「Setagaya Arts Place」を受託し、世田谷区や商店街などが主催する様々なイベント14か所16回に、ふさわしい芸人や音楽家を派遣した。

新しくなった世田谷区民会館で、ラウンジ・スペースを利用した無料のイベント、「ラウンジコンサート」を開催した。世田谷区民会館音楽事業アドバイザー3人によるトークイベント2回とチェリストによるコンサート1回を行った。

アメリカ合衆国のホストタウンである世田谷区が、アメリカ発祥の音楽ゴスペルを気軽に楽しんでもらうために開く「ホストタウンコンサート」を受託、実施した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

「音楽事業部広報」活動は、世田谷区民会館オープニングイベントに力を入れた。ラインナップをまとめたチラシ、ポスターなどを作成しただけでなく、駅貼りや世田谷線車内の吊り広告など、これまで行ってこなかった手段も試みた。

④ 国際事業部

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

せたがや国際交流センターでは、外国人からの問合せや相談に、情報提供や相談機関の紹介を関連する団体と連携を取りながら柔軟に対応した。

「市民活動支援」では、区内の国際協力団体の活動内容を取りまとめてパネルで館内展示し、区民まつりでもブース展示を行った。

「区民国際交流事業」としては、区共催「せたがや国際メッセ」において区民が留学生と英会話で交流する「イングリッシュテーブル」を担当した。また、世田谷海外研修者の会の「国際交流 IN セタがや」では運営に協力した。「にほんご交流会」は、テンプル大学ジャパンキャンパスでは5回、日本大学文理学部でも1回開催した。留学生や区内在住外国人と区民が“やさしい日本語”を使って、交流を重ねるイベントとして定着してきた。

今年度の「まち歩き」は、「日本語教室」「サポーター講座」の受講者を対象に「さんちゃ・にほんご・まちたんけん」を12月と3月に実施した。地元商店街の方々にも協力いただき、まちを散策しながら日本人と外国人が楽しく交流する機会となった。

「多文化理解講座」では、様々な文化、生活等を体験し学ぶ機会とした。第1回は渋谷区大山町にあるイスラム教寺院「東京ジャーミイ」を訪ねイスラム文化を学習した。第2回は外国人対象の「英語で野点」を瀬田四丁目旧小坂緑地にて開催した。第3回の難民映画祭パートナーズ上映会では、成城ホールで「戦火のランナー」、「私は歌う～アフガン女性たちの戦い」の2本のドキュメンタリーを上映した。第4回は「子ども企画」として夏休みに区内小学校の5、6年生がアンゴラ共和国大使館を訪問し、貴重な体験学習を行った。第5回は外国人等にも優しい平易な日本語に言い換える講座「やさしい日本語で伝えよう」を実施した。第6回のセミナー「オーストリア・ワインの魅力」は、ウィーン市ドゥブリング区との姉妹都市提携40周年を記念して開催し、ワインを通してオーストリアの食文化の奥深さを紹介した。

地域日本語教育の総合的な体制づくりとして、「外国人のための日本語教室(初級)」、「せたがや日本語サポーター講座・初級」が今年度、区より移管された。両事業とも多くの問合せが寄せられ、関心の高さがうかがえた。特に、日本語を学び始めた外国人をお手伝いする「日本語サポーター講座」は、年明けに急遽、第3期を新設して受講希望に応えた。また12月には「サポーター講座・初級」のフォローアップとして「中級編」を開催した。

日常的な取組みとして、外国人のスタッフによるイベントを館内で行っている。絵本の読み聞かせや韓国人スタッフによる「韓国語でおしゃべり」はすっかり定着している。

広報活動では、ホームページや、SNS、メールマガジンなどの電子媒体による発信とあわせ、外国

人向け情報紙「Newsletter」を、ボランティアによる翻訳(日・英・中)で毎月発行している。

なお、区の姉妹都市交流事業のうち、訪問団の子どもたちが日本文化に触れる機会として、紙漉き体験とテーブル茶道を国際事業部において実施した。

<<世田谷美術館>>

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

企画展では、全国巡回の「民藝 MINGEI——美は暮らしのなかにある」(4月24日～6月30日)が、1, 2階の両展示室を使い開催。柳宗悦が提唱した「民藝」の品々を「衣・食・住」のテーマに沿って展示するだけでなく、民藝の産地の今を取り上げ、その作り手と受け継がれる手仕事を現地取材の映像を交えて紹介。更に柳以降の現代のライフスタイルへと続く民藝の在りようを提案した。「須田国太郎の芸術——三つのまなざし」(7月13日～9月8日)では、「東西の絵画の総合」を追求した美学・美術史研究者としても知られる画家を、戦前の滞欧期に本人が撮影したスペインなどの各地の写真や、能・狂言への造詣の深さを示すデッサンなどで多角的に検証。「北川民次展——メキシコから日本へ」(9月21日～11月17日)は、1920～30年代の激動のメキシコで画家、美術教育者として活動し、戦後は愛知を拠点に壁画制作にも挑んだ芸術家の多面的な魅力を、資料も交え紹介。「東急 暮らしと街の文化」(11月30日～令和7年2月2日)は、これまで当館が企画した<企業と美術>シリーズの第5弾として、世田谷区にも関係の深い多彩な活動を展開する「東急」に焦点を当てた。鉄道事業をはじめ、街づくりや社会貢献としての文化活動など、100年にわたる「東急」が育んできた企業文化を鉄道関係資料から美術や文学作品まで幅広い視点で紹介。世田谷美術館コレクション選「緑の惑星セタビの森の植物たち」(令和7年2月27日～4月13日)では、一昨年の「わたしたちは生きている！セタビの森の動物たち」に続く<セタビの森>シリーズの第2弾として、当館の収蔵品から古今東西の植物が表現された作品を取り上げて紹介した。展覧会の最後の扇形会場は無料ゾーンとし、区内の子どもたちが制作した約1,300本の植物作品と共に、来場者も自由に葉っぱなどの植物を制作するコーナーを設け、会場全体が一つの大きな木がある森のような空間となった。

所蔵品を紹介するミュージアム コレクションでは、としまえんやペプシマンの広告で知られるアートディレクターの大貫卓也と『暮らしの手帖』の花森安治の仕事を紹介した「アートディレクターの仕事——大貫卓也と花森安治」(7月20日～10月14日)、難波田龍起、村井正誠、堂本尚郎のそれぞれの抽象表現の変遷を辿る「かわりゆくもの、かわらないもの——TRANSITION」(10月26日～令和7年1月13日)、デイヴィッド・ナッシュなど1980年代のイギリス美術の作品を、過去の当館での展覧会アーカイブ資料などと共に紹介する「1980年代のイギリス美術」(令和7年1月25日～4月6日)を開催した。3分館ではそれぞれ前期・後期で各館それぞれ魅力的テーマを工夫して展示を行った。

作品収集は、これまでの当館の活動のなかで培われた実績などを通じて、過去に収集された作品を補完する内容の美術作品などが新たに寄贈された。また、展覧会に付随した調査研究や講演会記録をまとめた「紀要」を発行した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

各展覧会では、毎回手話通訳を付け、専門家による講演会や、担当学芸員による展覧会の見どころを解説するレクチャーなどを行った。令和6年度の「美術大学」は、コロナ禍前の定員60名に戻し、従来の形式で実施したほか、美術大学受講者OBを対象にしたステップアップ講座も継続的に行った。

子ども映画ワークショップや閉館後に子どもたちが夜の美術館を謎解きしながら探検する「ナイトツアー」、作品に使われる色に注目した宮本館の展覧会と連動したワークショップなど、夏休み中の子どもたちが楽しめるプログラムを実施した。子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる恒例の100円ワークショップは、展覧会の内容に合わせて、染や油画など毎回工夫を凝らした工作を企画した。美術鑑賞教室は、ベテランから新人ボランティアまで、多くの市民が鑑賞リーダーとして参画し、豊かな美術鑑賞を子どもたちと分かち合った。令和6年度は学校との連携も充実し、インターンによる出張授業のほか、ミュージアム・セッションで、区内小学校図工教諭とのコミュニケーションを深め、「緑の惑星セタビの森の植物たち」展に展示する子どもたちの作品を学校で事前に制作してもらうことができた。

3回目となる若手アーティストを対象とした「世田谷美術館×アートネットワーク・ジャパン Performance Residence in Museum 2024-25」は、短歌を詠むダンサー／振付家の涌田悠が美術館に滞在し、「からだとことばで世田美と触れ合う！～日常を生活とアート／アーティストと鑑賞者のあわいを繋ぐ営みとは？～」をテーマに活動。滞在期間中にはオープンデーや滞在報告会など公開イベントを行った。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

順位付けの賞を廃止し、より多くの人々が参加できるように応募対象を広げた「世田谷区民展」では、幅広い年代の参加者のバラエティに富む作品が出品された。若手作家による講評会出品者との会話が弾み、来場者も前年度より約400名多かった。令和6年度も清川泰次記念ギャラリーを含め、多くの利用者が区民ギャラリーで作品を発表した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

新規のボランティアも加わり、100円ワークショップや美術鑑賞教室などに多くのボランティアが積極的に参画した。世田谷区と友好を結んでいる群馬県川場村とも森林ガイドによる散策とスケッチ旅行の企画や、川場村の文化祭に100円ワークショップが出張参加するなど交流を深めた。友の会会員やボランティアによる協力によって開催したさくら祭りでは、普段美術館に訪れない人々も気軽に立ち寄れる機会となった。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

友の会と連携したニュースレターを年3回発行したほか、当館のホームページをはじめ、X、Instagram等の公式 SNS を継続的に発信し、展覧会だけでなくイベントなどについても積極的にタイムリーな情報発信を行った。また、来館を促す展覧会の見どころなどを紹介する動画コンテンツなども制作し、配信した。

《世田谷文学館》

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

令和6年度は、日本ホラー漫画界を牽引する「伊藤潤二展 誘惑」、デジタル時代にあえて手描きを貫く二人の漫画家「漫画家・森薫と入江亜季展」2本の展覧会を開催した。「伊藤潤二展」は国内のみならず、世界各国からの来館者で当館の展覧会入場者数歴代1位となった。「漫画家・森薫と入江亜季展」は、二人の作家が、この展覧会を観て自分の創作を始めてほしいという思いから企画された展覧会であり、会場に置いたメッセージノートは、「自分も書き始めたい」「背中を押してもらった」など、来館者からの返信で埋め尽くされた。作家たちとの幸福な出会いと交流が、今年度の展覧会でも果たせたとしたらこれ以上の喜びはない。

シーズン展示は、世田谷文学館名誉館長・菅野昭正の評論『小説と映画の世紀』をもとにした展示と上映会を行った。当館収蔵の映画関連資料と、菅野の自筆原稿などとともに、読売文学賞受賞作『ステファヌ・マラルメ』の紹介も行った。会場内では、本著で論じている映画『第三の男』を常時上映したほか、近隣映画館の下高井戸シネマとのコラボ上映企画も実現し、菅野の探究した小説と映画の関係について、改めて考える機会となった。

コレクション展は、「小堀杏奴の油彩画展」、令和7年が生誕90年の「寺山修司展」を開催した。いずれも当館ならではのコレクションを題材にしており、森鷗外の次女で随筆家の小堀杏奴が絵画を学びパリに留学していた時期の絵画作品を中心に紹介、「寺山修司展」は、寺山が世田谷を拠点にして「天井桟敷」を立ち上げたところにスポットを当て、演劇活動にまつわるコレクションで構成した。「寺山修司展」は、コレクション展としては異例の来館者数を記録し、寺山修司の「現役ぶり」を示した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと活動している「どこでも文学館」は、今年度も好評で、出張展示を全国に広げることができた。展示先の学校で自主学習の題材として使用されるなど、展示だけにとどまらない広がりもあった。

また、令和6年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業の助成を受け、職員研修会、近隣地域でのワークショップ、出張展示用音声コンテンツの開発を行った。

広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」も5年ぶりに開催することができた。今回は「漫画家・森薫と入江亜季展」と連動して多文化交流をテーマとした。国際事業部の企画協力、アイスランド大使館及び中央アジア5か国大使館の協力を得て、大使館の出展ブースをはじめ、独立系書店や中央アジアの雑貨・食品の出店、ウズベキスタンの民族舞踊「ウズベクダンス」の実演、作家のライブパフォーマンスなど多彩なプログラムを実施し、当日無料の企画展、コレクション展と共に館全体でイベントを盛り上げた。

文学講座は、大江健三郎氏を追悼して、作家とゆかり深い講師を招いて「大江健三郎を語り継ぐ」を実施した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

当館所蔵の資料データ公開については、石川淳日記と椎名麟三の講演メモを前年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉02」として刊行するとともに、ホームページからのPDFダウンロードも可能とした。

昨今の広報媒体の変化に対応し、特に各展覧会では、マスコミ向けの内覧会を開催し、記者が会場に出向き、記事を寄稿することで、詳細な情報を全国配信した。また、今年度は訪日外国人旅行者が利用するサイト(旅行先情報サイトやホテルのサイト)などからも企画展情報が配信されるなど、館の情報を取り上げるメディアの種類が多様化した。

また、文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとわラジオ」の放送、文学館ニュースを年2回発行した。前年度発足した利用者サービスの充実を目的とする「セタブンパス」事業も継続実施し、オリジナルコンテンツや定期的なメールマガジンできめ細かな情報提供を行った。

総括として、今年度の世田谷文学館は、過去最多の来館者と館外の活動も成果を上げ、より多くの方に利用されたことを感謝とともにご報告したい。

2. 事業実績

(1) 世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
デザイン・ アートの展 示	【生活工房ギャラリー2024】 共催展示 世田谷のまちと暮らしのチカラ ーまちづくりの歩み50年ー	デザイン、生活文化に関する幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連事業としてトークイベントやワークショップも開催。					
		1975年頃から現在まで、50年にわたる住民参加のまちづくりの歩みを、「まちづくりの空間」「地形と都市計画」「グラフィックデザインと都市デザイン」「ワークショップと道具箱」「市民のデザイン」の5つパートによって紹介した。	(1月31日)～ 4月21日	無料	6,770 (総計: 18,250)	2,500 (総計: 15,000)	生活工房ギャラ リー、ワーク ショップルームB ほか
		【関連イベント】 ギャラリートーク(全12回:2024年度3回) 講師:饗庭伸、橘たか、千葉晋也(世田谷まちづくり展実行委員会メンバー)	4月7日、13日、 21日	無料	30	—	生活工房ギャラ リー
		公開資料整理会特別編③ 都市デザイン室の仕事 講師:卯月盛夫(元 世田谷区都市デザイン室主任研究員)、齋藤啓子(元 世田谷区都市デザイン室職員、世田谷まちづくり展実行委員会メンバー)	4月13日	無料	16	—	ワークショップ ルームA
	アウト・オブ・民藝 「民」から 芽づる編 MINGEIのB 面！	みんなでお散歩ゼミナール マップDXアプリ編 講師:世田谷まちづくり展実行委員会メンバー	4月14日	無料	7	—	桜丘～用賀周辺
		アウト・オブ・民藝は、軸原ヨウスケと中村裕太が行う「民藝」の周辺をめぐるリサーチ活動。柳宗悦らの民藝運動の黎明期と今日におけるライフスタイルとしての「MINGEI」との食い違いを、「民(みん)」という言葉キーワードに、当時の雑誌や新聞などの出版物をはじめ、柳田國男、富本憲吉、その他周縁の人々の日記や書簡等を時間軸に沿わせて立体的にひも解いた。	4月29日～ 8月25日	無料	24,505	15,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 アウト・オブ・民藝のなかよしギャラリートーク 講師:軸原ヨウスケ(デザイナー)・中村裕太(美術家)／「アウト・オブ・民藝」企画制作	4月28日	無料	60	—	生活工房ギャラ リー
		アウト・オブ・民藝の芋蔓まつり 講師:花井久穂(東京国立近代美術館主任研究員)、田口史人(リクロ舎)、オオヤミノル(オオヤコーヒ焙煎所)、軸原ヨウスケと中村裕太	6月15日	500	73	—	生活工房ギャラ リー、ワーク ショップルーム AB
		アウト・オブ・民藝 vs 新しい骨董のブリッジトーク 講師:新しい骨董(下道基行、山下陽光)、アウト・オブ・民藝(軸原ヨウスケと中村裕太)	8月25日	500	123	—	生活工房ギャラ リー、セミナー ルームAB

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
デザイン・ アートの展 示	山下陽光のおもしろ金儲け 実験室	設立20年を迎えるハンドメイドファッションブランド「途中でやめる」。主宰の山下陽光は、著書『バイトやめる学校』でも知られている。山下の活動を軸にした公開制作、展示、イベント等を通して、身近な物事の「価値」を考えた。	9月3日～ 12月26日	無料	30,471	15,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 山下陽光のギャラリートーク	9月7日	無料	51	—	生活工房ギャラ リー
		調べ物の調べ方 カラー写真とワサビの場合 ゲスト:衣川太一(フィルム資料研究家)、山根京子(ワサビ研究者)	12月7日	1,000	57	—	セミナールーム AB
	PART OF THE ANIMAL —動物と人間のあいだ	人間が絵を描きはじめてから「動物」は主要なモチーフだった。そして今も絵画に限らず彫刻、音楽、踊り、言葉による表現など、多様に描かれる。人はなぜ「動物」に惹かれるのか?「描かれる」のはなぜ動物なのか?動物が結ぶ人と自然とのつながり、その根源を探る展覧会。	2025年1月21日～ (4月20日)	無料	37,385	10,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 トークイベント 動物と人間のあいだを考える 講師:五十嵐大介(漫画家)、石倉敏明(人類学者)、大石侑香(エスノグラ ファー)、大小島真木(アーティスト)、小田隆(画家、イラストレーター、大学教 員)、鴻池朋子(アーティスト)、菅原和孝(人類学者)、丹羽朋子(人類学者)、根 本裕子(陶芸家)、長谷川朋広(ゲームクリエイター、アートディレクター)、山口 未花子(人類学者)	2025年1月25日	1,000	86	—	セミナールーム AB
		ワークショップ ジェンダーとは?からだを動かして、楽しく学ぼう 講師:ケイトリン・コーカー(ダンサー、人類学者)	2025年2月8日	1,000	29	—	セミナールーム AB
		ギャラリーパフォーマンス 出演:ケイトリン・コーカー(ダンサー、人類学者)、アナック・アグン・グデ・イス ワラ・マンデラ(舞踊家)	2025年2月8日	無料	50	—	生活工房ギャラ リー
		ワークショップ バリ舞踊にみる自然—動物や植物で躍るからだ 吉田ゆか子(文化人類学者)、アナック・アグン・グデ・イスワラ・マンデラ(舞踊 家)	2025年2月9日	1,000	30	—	セミナールーム AB
		対談イベント 動物をめぐる対話1—動物を狩ること、えがくこと 講師:齋藤亜矢(認知科学者)、竹川大介(人類学者、漫画家)、山口未花子 (人類学者)	2025年3月8日	1,000	60	—	セミナールーム AB
		対談イベント 動物をめぐる対話2—それぞれの環世界、共に動物である私たち 講師:石倉敏明(人類学者)、管啓次郎(詩人)、長坂有希(アーティスト)	2025年3月9日	1,000	59	—	セミナールーム AB
	常設展示 生活工房アレコレ2024	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料など を公開し、閲覧できる可動的なコーナーで紹介。	通年	無料	70,807	50,000	生活工房3Fロ ビー

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	【セミナー・ワークショップシリーズ2024】	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属《共生のための国際哲学研究センター(UTCP)》とともに、「インクルーシヴ」をテーマにゲストを招きセミナーを開催した。 新しい視点や関係を創造したり、自分の信念に変化が起こるなど、様々な効能が注目されている「対話」。その多様なアプローチについて学び・体験しながら、日常における「対話」の可能性を再考するセミナー・シリーズ。 ファシリテーター：山内泰(一般社団法人大牟田未来共創センター理事) (1)自助グループとグループカウンセリング 講師：信田さよ子(公認心理師・臨床心理士) 本多清見(公認心理師・臨床心理士) ①講演＋対談 ②講演＋対談＋体験	11月24日	①1,500 ②2,500	160	260	ワークショップ ルームAB
	対話の効能〈わたし〉と〈あなた〉のあわい vol.2	(2)修復的正義 小松原織香(東北大学大学院文学研究科准教授) 田中圭子(一般社団法人メディエーターズ代表理事) ①上映 ②講演＋対談 ③上映＋講演＋対談＋体験	12月14日	①1,000 ②1,500 ③3,500	164		東京大学駒場 I キャンパス
		(3)当事者研究 熊谷晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター教授) 綾屋紗月(東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授) ①講演＋対談 ②講演＋対談＋体験	2025年1月12日	①1,500 ②2,500	189		東京大学駒場 I キャンパス
	老人性アメイジング！ vol.2 寿ぎと分解	介護の小断、ピアノ演奏、哲学の講演など多彩なコンテンツを通じて、ネガティブに捉えがちな「老いと死」のイメージを積極的に更新するセミナー。 進行：山内泰(一般社団法人大牟田未来共創センター理事) (1)老いと寿ぎ 講師：村瀬孝生(「宅老所よりあい」ほか統括所長) ピアノ演奏：坂本彩・坂本リサ(ピアニスト)	2025年2月9日	3,000	110	90	東京大学駒場 I キャンパス
		(2)死と分解 講師：村瀬孝生(「宅老所よりあい」ほか統括所長) 藤原辰史(京都大学人文科学研究所准教授)	2025年3月22日	3,000	136		東京大学駒場 I キャンパス
	アーカイブ配信	セミナー・ワークショップの記録をYouTubeで公開するラーニングプログラム。	通年	無料	PV数 56,988回	PV数 30,000回	オンライン
	【穴アーカイブ2024】	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。デジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開。					
	世田谷クロニクル1936-83	8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-83」。ウェブサイトの運営に加えて、美術館等への貸出を行うほか、アウトリーチ事業で活用を図った。	通年	無料	PV数 23,717回	PV数 10,000回	オンライン

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	せたがやアカカブの会	「世田谷クロニクル1936-83」に収録された映像をもとに、フィルムを介して思い出した個人的なエピソード、気付いたことや気になったことなど、スクリーンを囲みながら言葉にしていって定期上映会。(3回)	①6月2日 ②10月6日 ③2025年1月19日	無料	①18 ②10 ③13	60	ワークショップ ルームA、セミ ナールームB
	エトセトラの時間 見えるものと見えないものを 語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。「視覚障害者と つくる美術鑑賞ワークショップ」との協働で、視覚障害者の鑑賞機会の拡充や、 相互理解の機会を創出。(2回)	①7月15日 ②2025年1月18日	無料	①7 ②5	20	オンライン
	【共催事業】 財団内部、文化芸術団体、教 育機関、中間支援組織等と の共催	施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学 やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを 行った。 第5回 セタがや居場所サミットケアする社会は『居場所』から (共催:せたがや居場所サミット実行委員会) 子ども、若者、高齢者、外国人など、様々な対象にむけた居場所づくりに取り 組んでいる区内の団体が集まり、パネル展示やトークリレーを実施。	5月25日	無料	167	500	ワークショップ ルームAB
		『三世代遊び場図鑑』復刊記念シンポジウム (共催:『三世代遊び場図鑑』復刊記念シンポジウム実行委員会) 太子堂で三世代を対象に行われた遊び場聞き取り調査をもとに、1984年に 発行された『三世代遊び場図鑑』復刊を記念したシンポジウム。	2025年2月24日	無料	51		セミナールーム AB
子どもワ ークショップ	【子どもワークショップ 2024】	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体 験などを通して、創造性を育む機会を創出する事業を実施した。					
	世田谷うまれのリソグラフ® 印刷であそぼう！	市民活動を支えるリソグラフ(簡易印刷機)に着目し、クリエイターを講師に招 いて、その印刷特性を活かした創作ワークショップを夏休み期間中に開催。印 刷のしぐみを知り、文字や形を組み合わせる版をデザインしてポストカードつく りを体験した。 講師:Hand Saw Press (安藤僚子、菅野信介)	8月10日、11日	500	①66 ②73	100	市民活動支援 コーナー
	第23回おはなしいっぱい	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体を ネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話し会。子どもが、地域に 根差した活動をする大人たちと出会う機会を創出し、世代間や地域間の交流の 活性化や、ネットワークの広がりを支援した。	8月21日～23日	無料	953	1,000	ワークショップ ルームAB
	日常を見限らないvol.4 バランスのワークショップ	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワー クショップ・シリーズの第4弾を子ども～大人までを対象に実施。 (1)Talk バランスからとらえる身体・生命の不思議 講師:森田真生(独立研究者)	9月7日	1,500	51	80	ワークショップ ルームAB
		(2)Workshop 降り立つ場 アンバランスから生まれる新しい日常 ①見学ツアー 講師:荒川修作+マドリン・ギンズ東京事務所 学芸担当スタッフ ARAKAWA+GINS Tokyo Office ②身体発見ダンス 講師:砂連尾理(振付家・ダンサー)	10月5日、6日	1,000	①40 ②31		三鷹天命反転住 宅 イン メモリー オブ ヘレン・ケ ラー

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
人材育成 プログラム	インターン生の受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場を体験する場を提供した。	8月9日～25日 (期間内の5日)	—	2	2	—
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営・SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、レポートなどを掲載し、情報を発信した。SNS(X、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開した。	通年	—	—	—	—
	情報紙の編集・発行	生活工房の事業を紹介する情報紙を定期発行。区内施設や全国の文化施設等で配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供した。	4月、7月、10月、 2025年1月発行	—	—	—	—
	生活工房「アニュアルレポート2024」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。施設の総合的な情報を開示することで事業への関心を高め、既存利用者の満足度向上や新規利用者の獲得を図った。	2025年4月	—	1,500部	1,500部	—
国際交流・ 異文化理 解の推進	PART OF THE ANIMAL —動物と人間のあいだ [再掲]	人間が絵を描きはじめたところから「動物」は主要なモチーフだった。そして今も絵画に限らず彫刻、音楽、踊り、言葉による表現など、多様に描かれる。人はなぜ「動物」に惹かれるのか？「描かれる」のはなぜ動物なのか？動物が結ぶ人と自然とのつながり、その根源を探る展覧会。	2025年1月21日～ (4月20日)	無料	37,385	10,000	生活工房ギャラ リー
市民活動 支援	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、打合せスペース、プリントアウトスペースなどを貸出。運営は市民活動団体に委託。	通年	—	8,884	7,000	市民活動支援 コーナー
	ちかくのとーく	世田谷区内で身近な地域課題に取り組む団体や人物を紹介しながら、市民活動への参加や支援を促進するトークプログラム。会場とオンラインで開催。(3回) 進行:市川徹(まちづくりコーディネーター) 記録:千葉晋也(まちづくりデザイナー)	5月12日	会場200 オンライン無料	会場21 オンライン 20	各回 会場 10 オンライン 15	セミナールームB オンライン
		vol.07 住民にきく、成城の百年とこれからのこと ゲスト:荒垣恒明(成城学園教育研究所)、岩村徹(成城自治会副会長)	10月14日		会場11 オンライン 21		セミナールームB オンライン
		vol.09 玉川田園調布の、ご近所とコミュニティのこと ゲスト:伊藤雅春(玉川まちづくりハウス)、木下壽子(有限会社コミュニティー・ハウジング)	2025年1月26日		会場5 オンライン6		セミナールームB オンライン
	世田谷うまれのリソグラフ® 印刷であそぼう！ [再掲]	市民活動を支えるリソグラフ(簡易印刷機)に着目し、クリエイターを講師に招いて、その印刷特性を活かした創作ワークショップを開催。印刷のしくみを知り、文字や形を組み合わせて版をデザインしてポストカードづくりを体験した。 講師:Hand Saw Press(安藤僚子、菅野信介)	8月10日、11日	500	①66 ②73	100	市民活動支援 コーナー

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
国内演劇 創作事業	芸術監督企画 『Medicine メディスン』	【作】エンダ・ウォルシュ 【翻訳】小宮山智津子 【演出】白井晃 アイルランド生まれの劇作家・映画脚本家で、イギリスを拠点に米英で活躍するエンダ・ウォルシュの2021年の戯曲『Medicine メディスン』を上演した。 2021年エディンバラでの初演以来、アイルランド、ニューヨークで上演され、演劇界を席巻した話題作を、『バリーターク』『アーリントン[ラブ・ストーリー]』でウォルシュの戯曲を手掛けてきた白井晃芸術監督が、シアタートラムならではの空間を活かした演出で上演し好評を得た。 世田谷から発信する日本演劇界のレパートリーとして誇れる作品となり、文化芸術の普及と発展を図った。(44回)	5月6日～6月9日	7,500～ 3,250	10,547	8,119	シアタートラム
		【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(4回)	6月14日～16日	8,500	3,136	—	阪急中ホール
		【愛知公演】東海市芸術劇場(4回)	6月22日、23日	8,800	3,691	—	大ホール
		【静岡公演】静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(2回)	6月29日、30日	8,000	1,689	—	中ホール・大地
	橋本ロマンス演出・振付 『饗宴/SYMPOSION』	新時代の振付家・演出家として頭角を現す橋本ロマンスを中核アーティストとし多岐にわたるジャンルで活躍中の、様々な個性を持ったアーティストが協働することで、ファッションや音楽など、都会的な感性に溢れる「今」を感じることで、多層な顧客の心に響く同時代性の高い作品となった。 出演者のインスピレーションの源ともなったイスラエルによるガザ侵攻や、LGBTQなど、社会的テーマ、エピソードなど、現代の不確実性について観客が向き合う機会ともなった。(6回)	7月3日～7日	6,500～ 2,000	1,274	2,400	パブリックシアター
	芸術監督企画 『セツァンの善人』	【作】ベルトルト・ブレヒト 【音楽】パウル・デッサウ 【上演台本・演出】白井晃 芸術監督の白井晃のライフワークであり、世田谷パブリックシアターでも定期的に上演すべき作家として位置づけているベルトルト・ブレヒトの戯曲『セツァンの善人』を、既存のブレヒト戯曲のモノログ箇所を「語り歌」にした新演出で、新規の楽曲を本公演のために制作し、音楽的な装いを更に高めた萬意劇として、現代の視座から上演。こうした近代古典の傑作戯曲を今日の新たな新解釈で提示していくことは、公共劇場としての一つの役割でもあり、また、キャスト陣の役柄の骨格を鮮明にした熱演もあり、非常に観やすく分かり易い作品となった。ブレヒト作品に馴染みの無い観客層の取込みにもつながり、舞台芸術の楽しさを広く伝えることができた。(19回)	10月16日～ 11月4日	9,500～ 2,500	7,006	8,134	パブリックシアター
		【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(2回)	11月9日、10日	9,500	1,104	—	阪急中ホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
国内演劇 創作事業	ノゾエ征爾演出 『ロボット』	【作】カレル・チャペック 【潤色・演出】ノゾエ征爾 “ロボット”の語源でもあり、後世のSF概念に大きな影響を与えたカレル・チャペックの戯曲『ロボット(R.U.R)』を原作とし、第56回岸田國士戯曲賞を受賞後も多種多様な創作を担ってきたノゾエ征爾が潤色・演出を手掛けた新作演劇を上演。ノゾエのエッジの効いた演出と実力俳優たちの競演でシニカルに描き好評を得た。 本作の美術・衣裳を手がけた山本貴愛が第32回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞を受賞。(21回)	11月16日～12月1日	8,500～ 4,000	4,287	3,500	シアタートラム
		【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(2回)	12月14日、15日	9,500	1,001	—	阪急中ホール
	サイモン・スティーヴンス ダ ブルビル 『ポルノグラフィ PORNOGRAPHY／レイジ RAGE』	【作】サイモン・スティーヴンス 【翻訳】小田島創志(『ポルノグラフィ』) 高田曜子(『レイジ』) 【演出】桐山知也 主催公演初登場となる桐山知也を演出に迎え、シアタートラムならではのエッジの効いた現代社会に問題提起できうるパワーのある同時代作品を上演した。実際に起きたロンドン同時爆破テロ事件を背景に2005年に書いた『ポルノグラフィ』と、ユーロ離脱前の大晦日の一夜のカオスを2015年に書いた『レイジ』を、2025年の東京で二幕構成にしてダブルビルとして上演するという、冒険的な企画を打ち出し話題となり、作品成果も高く評価された。また、出演者に若手も多く登用し、次世代の実演家の育成も兼ねた作品づくりを行なった。(15回)	2025年2月15日～ 3月2日	8,000～ 3,500	2,758	2,880	シアタートラム
	作品創造研究	文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」に採択され、次代を担う若手クリエイター、アーティスト、スタッフ等の育成事業を開始することになったことを受け、次年度以降に本格的に事業を展開するための調査及びオーディションワークショップを実施。最終的に海外での展開を目指すため、候補地への出張も行なった。	通年	—	—	—	稽古場ほか
せたがや アート ファーム	せたがやアートファーム 2024 『せたがや夏いちらくご』	古典落語を扱いつつも現代の風刺を取り入れ大胆アレンジする作風と、とっつきやすい語り口で幅広い年齢層から多くの支持を集める春風亭一之輔がプロデュース。昼は子ども・親子に向けた入門編、夜は落語ファンに向けた公演として、昼夜で異なる出演者・内容によるオリジナリティーある公演を実施。寄席芸能をより身近に感じることができ、テレビ等以外ではなかなか接する機会のない、伝統的・本格的な大衆演芸の面白さ、話芸のすばらしさを幅広い年齢層の観客に楽しんでいただく公演となった。(2回)	7月21日	5,000～ 2,000	1,231	1,020	パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
せたがや アート ファーム	せたがやアートファーム 2024 野上絹代演出作品 音楽劇 『空中ブランコのりのキキ』	【原作】別役実(童話「空中ブランコのりのキキ」「山猫理髪店」「丘の上の人殺しの家」より)【構成・演出】野上絹代【音楽】オオルタイチ【脚本】北川陽子 劇作家・別役実が手掛けた傑作童話を、注目の演出家・野上絹代が再構築。演劇・サーカス・アクロバット・音楽など、多様な要素を盛り込み大人も子どもも楽しめる作品を上演。文化庁「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」補助金を活用し、親子ペア券・18歳以下無料を設けたことで多くの若年層が来場、好評を得た。また、関連企画としてサーカスアーティストによる子ども向けワークショップを実施。参加者の好奇心と作品への理解度を高める体験の場となった。(公演11回、ワークショップ2回)	①8月6日～18日 ②8月8日、11日 (ワークショップ)	①8,000～ 3,750 ②無料	①6,235 ②39	①5,980 ②40	パブリックシアター
		【姫路公演】アクリエひめじ(1回)	8月31日	6,000	571	—	中ホール
	せたがやアートファーム 2024 ASA-CHANG 小辻太一ワークショップ	ASA-CHANGのタイコで遊ぼう 東京スカパラダイスオーケストラ創設者で、現在は「ASA-CHANG&巡礼」として活動するドラマー&パーカッショニスト、ASA-CHANGによるワークショップ。タイコの組み立て、演奏、解体を行い、楽器の仕組みや音楽の楽しさを学んだ。(2回)	7月30日	1,000～500	60	75	シアタートラム
		みんなで遊ぼう！棒のダンス フランスを拠点に活動するジャグラー小辻太一による、1本の棒をつかったワークショップ。グループで物を使って遊びながら作品創作を体験し、最終日には発表会を開催した。(5日間)	8月14日～18日	1,500	35		
ダンス公 演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出した。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。 ・OrganWorks ・大駱駝艦・天賦典式 ・イデビアン・クルー ・倉田翠 akakilike ・ケダゴロ ・目黒陽介 ・山崎広太	通年	—	6,014	5,500	パブリックシアター/シアタートラム
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行った。 ・シス・カンパニー ・チェルフィッチュ ・花組芝居 ・日本舞台音響家協会 ・泥棒対策ライト ・スペースノットブランク ・贅沢貧乏	通年	—	27,017	23,000	パブリックシアター/シアタートラム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
コミュニティプログラム	劇場での演劇ワークショップ	地域の人々が気軽に参加できるプログラムから、深く取り組むことのできるプログラムまで、多様な内容のワークショップを実施した。	4月5日～ 2025年3月26日	1,000	273	840	稽古場ほか
		(1)「デイ・イン・ザ・シアター」 1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップを行った。(12コース23回)	7月13日～9月1日	3,000～ 1,000	37		
		(2)「20代・30代のための演劇ワークショップ」(2コース4回)	4月29日	1,000	16		
	子どものためのワークショップ	(3)「ラップしようぜ！ワークショップ」				1,080	稽古場ほか
		子どもを対象に、演劇ワークショップを実施した。	7月20日～8月31日	3,000	594		
		(1)「エンゲキワークショップ」 小中高の長期休暇に合わせたワークショップを実施した。(11コース33回)	4月27日～ 2025年3月2日	1,000	206		
		(2)「ごちゃまぜ演劇ワークショップ」 学齢で区切らないワークショップとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供した。(12コース12回)	9月4日、12月4日	1組 1,000	58		
	地域の物語	(3)「ひらけ！絵本」親子で楽しむ、読み聞かせワークショップ(2コース4回)				798	稽古場/シアター トラムほか
		区民を中心とした参加者たちが設定されたテーマを出発点に演劇的手法を使って考えや思いを交換、発見していくワークショップ。今年度は20代・30代の方を対象とした長期のワークショップ「20代・30代編」と、多世代を対象とした1日限りのワークショップ「だれでも編」を行った。(ワークショップ11回)	2025年2月9日～ 3月23日	10,000～ 1,000	239		
学校とその他区内施設との連携プログラム	学校のためのワークショップ	2021年度に創作した『うけいれる身体、うけいられない身体』の地方ツアーを行った。【新潟公演】新潟市民プラザ(公演1回、ワークショップ1回)	4月14日、21日	1,500	133	—	新潟市民プラザ
		世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の3つの事業を実施した。	6月5日～ 2025年2月28日	無料	6,053	8,785	世田谷区内の各 小中学校/稽古 場
		(1)「ワークショップ巡回団」進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップを実践した。(171回)	9月10日～ 2025年2月19日		689		
		(2)「ともにやの部屋」障害当事者のライフストーリーからなる小作品を巡回した。(全21回:文化庁ユニバーサル公演事業11回、東京都インクルーシブ体験プログラム5回、区内ツアー5回)	5月25日、6月5日		81		
		(3)「先生のためのワークショップ」小中学校の先生が授業で活用するためのヒントとなるワークショップや事業報告会を劇場内外で実施した。(1回、シンポジウム1回)					

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
学校とそ の他区内 施設との 連携プロ グラム	地域連携プログラム	非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施した。 2024年度は、昨年度に引き続き下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人等と連携してアートのお祭り「極楽フェス2024」を開催した。また、世田谷区玉川地域社会福祉協議会との共催企画「下馬アートプロジェクト」を実施した。(7企画9回)	6月17日～ 2025年3月10日	無料	516	180	世田谷区内施設 ほか
	中学生演劇活動支援	中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供した。 (1)中学校支援 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携した、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援。支援内容は、演劇区大会支援を中心に、学校を訪問しワークショップ、講習会を行う等、希望に応じた。	通年	無料	165	600	世田谷区内各小 中学校/区民会 館ほか
		(2)世田谷パブリックシアター中学生演劇部 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施する。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表した。(20回)	4月20日～ 2025年3月31日	1回 1,000	260		世田谷区内各小 中学校/区民会 館/稽古場
	新小学1年生のためのスタートカリキュラム[区受託]	世田谷区内11校の新小学一年生を対象に、世田谷区教育委員会からの受託により、集団生活を始めるためのスタートアップカリキュラムの一貫として演劇ワークショップを実施した。(11回)	4月22日～6月19日	無料	840	—	世田谷区内各小 学校
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供した。(28回)	6月10日～ 2025年2月14日	—	6,400	6,000	世田谷区内各小 学校体育館
	移動劇場「あっとホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する企画。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々で、プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じた。劇には施設の職員が登場する場面を設けたり、また、カラフルなポンポンを観客全員に渡し、登場人物のリードで音楽に合わせて振付を練習するなど、一体感が出て高揚した様子だった。(14回)	5月17日～6月2日	無料	650	1,000	区内特別養護老 人ホーム、デイ サービス、障害 者施設
研究育成 プログラム	観客育成プログラム	地域市民及び観客を対象に「世田谷パブリックシアターダンス食堂」(劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク)を実施した。(2企画4コース)	6月25日～ 2025年3月19日	1,000	68	180	稽古場/セミナー ルームほか
	専門家育成プログラム	大学生や進行役、研究者を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ」を設定し、ラボメンバーを募集。今年度は、「福祉」「教育」「まちづくり」を3本柱に、レクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムを行い、一部のレクチャーやワークショップは一般にも公開した。(20企画63回)	4月6日～ 2025年3月17日	3,000～ 1,000	675	320	パブリックシア ター/シアター ラム/稽古場/セ ミナールームほ か

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
舞台技術者人材育成プログラム	Technical Theatre Training Program 舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、未経験者及び経験者向けの入門・基礎講座、劇場構造講座など多様なプログラムを設け各分野別プログラムを実施した。(7講座)					
		(1)音響入門編	8月29日	3,000~500	31	290	パブリックシアター/シアタートラム
		(2)照明入門編(2回)	8月30日		33		
		(3)舞台技術安全講座	8月31日、9月1日		24		
		(4)舞台音響基礎講座	2025年3月12日		25		
		(5)舞台照明入門講座	2025年3月13日		18		
		(6)舞台技術安全講座(2回)	2025年 3月14日、15日		21		
		(7)劇場建築と構造の解説講座・劇場のカラクリ(対象12才~18才/4回)	6月10日~ 2025年2月12日		18		
	舞台技術支援	劇場利用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行った。	通年	—	—	—	—
区民の表現の場の提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体を公募。世田谷パブリックシアター(バレエ部門、ダンス部門)とシアタートラム(音楽部門)にて、各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ね、日ごろの成果を発表した。(5日間5回)	4月28日~5月6日	—	2,522	3,000	パブリックシアター/シアタートラム
	シアタートラム・ネクストジェネレーション vol.16—演劇— くによし組『ケレン・ヘラー』	2008年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアタートラム・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「ドラマ(演劇)」「フィジカル(ダンス、サーカス等身体表現)」とジャンルを分け、隔年で開催。2024年度は「ドラマ(演劇)」部門として、くによし組『ケレン・ヘラー』の公演を実施した。(7回)	12月19日~22日	4,000~ 1,750	1,164	1,000	シアタートラム
地域活性のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2024 『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。コロナ禍を経て5年ぶりに海外アーティストの招聘が復活したほか、地元大学との連携が増えフェスティバルが拡大したことにより街の賑わいづくりにつながった。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施。2日間開催。(文生センター全体事業)	10月19日、20日	—	171,000	200,000	三軒茶屋駅周辺 商店街ほか

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知した。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行った。	通年	—	—	—	—
	学芸共通広報宣伝	学芸部門で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開した。	通年	無料	—	—	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行した。2024年度は2023年度の事業を報告するための冊子を作成した。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行した。	通年	無料	400部	1,000部	—
	劇場ツアー	世田谷パブリックシアターおよびシアタートラムの施設や機構などをツアー形式で参加者に紹介。ツアーのナビゲートは芸術監督または劇場職員が行った。(4回)	5月26日、7月15日、 10月26日、 2025年2月16日	無料	298	250	パブリックシアター/シアタートラム
海外招聘・国際共同制作	サーカス・シルクール『ニッティング・ピース』	スウェーデンの首都・ストックホルムを拠点とし、スカンジナビアを代表する現代サーカスのカンパニー“サーカス・シルクール”を招聘。 年齢、性別、国籍、障害などあらゆる境界を崩そうと、様々な社会問題に焦点をあて、メッセージ性の強い作品を発表してきたシルクールの人気作で、10年もの長い間ツアーを行ってきた『ニッティング・ピース(=平和を編む)』を紹介。多彩な表現を包容する現代サーカスの芸術性と、昔ながらのサーカスに期待される高度なテクニックを兼ね備えたサーカス・シルクールの作品を紹介することで、舞台芸術を愛する方々からパフォーミングアーツに馴染みのなかった方々まで、あらゆる観客層に劇場公演の楽しさを味わっていただく機会となった。文化庁「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」補助金を活用したことで、若年層の集客を得ることができた。また、編み物やサーカスを題材にした、人と人のつながりや信頼関係を築く一般向けワークショップを開催した。(公演3回、ワークショップ3回)	①11月20日～22日 ②11月19日～12月3日(ワークショップ)	①5,000～1,750 ②3,000～500	①1,376 ②49	1,350	パブリックシアター/稽古場
		【山口公演】山口情報芸術センター(2回)	11月9日～10日	4,000	442	—	スタジオA
		【岡山公演】岡山芸術創造劇場ハレノワ	11月16日	4,000	492	—	中劇場
		【愛知公演】愛知県芸術劇場	11月26日	6,000	971	—	大ホール
		【富山公演】オーバード・ホール(2回)	11月30日～12月1日	5,000	819	—	中ホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
海外招聘・ 国際共同 制作	海外招聘ダンス タンツマインツ『PROMISE』	ドイツ中西部のマインツ州立劇場に所属するダンスカンパニー タンツマインツの来日公演。近年の代表作として高い評価を得ている、シャロン・エイアル振付『PROMISE』を上演。タンツマインツの初のアジアツアーであり、初来日公演として、ダンス関係者からの高い期待に応える公演となった。また、ミニマルな振付をダンサーたちの優れた身体性によって見事に拡張させたダンスは、若者を中心に支持され、ダンサーのみならず、幅広い世代、多岐にわたる観客から高く評価された。(公演3回、ワークショップ2回)	①2025年2月28日 ～3月2日 ②2025年2月27日 3月1日(ワーク ショップ)	①5,000～ 2,000 ②2,000～ 1,500	①1,333 ②41	1,200	パブリックシア ター
せたがや アート ファーム	せたがやアートファーム 2024 マシーン・ドゥ・シルク『ゴース ト・ライト』	カナダのケベック州を代表する現代サーカスカンパニーのひとつ、マシーン・ドゥ・シルクの『ゴースト・ライト』を招聘。ノンバーバルで全年齢を対象として創作されているマシーン・ドゥ・シルクの作品は、子どもから大人まで使用言語に関わらず気軽に楽しむことができ、パフォーミングアーツに馴染みのない方々にも気軽に来場できる機会をつくるとともに、普段劇場に来る機会の少ない親子連れも多く来場し、日本国内で触れることの少ない海外の上質な作品の観賞機会を提供することができた。(公演3回、ワークショップ2回)	①7月26日～28日 ②7月24日(ワーク ショップ)	①3,500～ 1,000 ②2,500～ 1,500	①851 ②25	980	パブリックシア ター
	せたがやアートファーム 2024 ル・グロ・オルティユ『図書館 司書くん』	カナダ・ケベック州を拠点にファミリー向けの作品を多数発表しているル・グロ・オルティユの人気作で、子どもたちに馴染み深い図書館を舞台に繰り広げられるコメディ・サーカス『図書館司書くん』を招聘。日常では見る機会のない高度なサーカステクニックと、本の面白さを作品テーマにし世界共通の笑いのコメディ要素を混ぜ合わせた作品をファミリー層へ向け紹介することで、パフォーミングアーツに馴染みのない方々にも気軽に来場できる機会をつくるとともに、日本国内で触れることの少ない海外の上質な作品の観賞機会を提供することができた。(公演4回、ワークショップ4回)	①8月8日～10日 ②8月7日(ワーク ショップ)	①3,500～ 1,000 ②1,000	①640 ②16	500	シアタートラム

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
身近に親しむ演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	せたがやジュニアオーケストラの活動の中間発表として、全体合奏とセクションごとのアンサンブル曲を披露した。終演後には、団員が指導役に回り、希望者に楽器体験をしてもらう時間も設け、交流した。	10月27日	500	546	620	世田谷区民会館
	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家を選び、質の高い音楽を提供する、室内楽の演奏会シリーズ。 金川真弓(ヴァイオリン)&久末航(ピアノ) 国際的に活躍するヴァイオリニストとピアニストを招き、リニューアルを記念して、室内楽の会場としては大きい世田谷区民会館で開催。来場者の満足度がきわめて高い演奏会となった。公演に先立ち、金川単独で、小学4年から中学生を対象にしたワークショップも実施。貴重な機会となった。	9月28日 ワークショップ 6月15日	4,000～ 3,600 ワークショップ 1,000	463 ワークショップ 45	560	世田谷区民会館 【ワークショップ アレイホール】
		上野通明(チェロ)&北村朋幹(ピアノ) ジュネーヴ国際音楽コンクール優勝のチェリストと注目のピアニストによる公演。古典派、ロマン派、現代のソナタを取り上げたプログラムで、満場の聴衆をうならせた。	2025年3月20日	4,000～ 3,600	275		成城ホール
	シリーズ和・華・調 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	世田谷区民会館 柿落し公演 開館を記念して、中村雀右衛門・大谷廣松による歌舞伎舞踊『雛鶴三番叟』と今藤政太郎の代表作である長唄『蜚』を組み合わせた公演を行った。冒頭に、柿落しならではの『一番太鼓の儀』も行い、たいへん充実した内容となった。	8月11日	8,500～ 4,000	752	700	世田谷区民会館
	せたがや音楽研究所 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	特別編「宮川彬良まつり」 宮川彬良スペシャル・プロデューサーが、特別編成のオーケストラを率いて、おなじみのポップスの名曲を演奏。これまでの「せたがや音楽研究所」の集大成となる、華やかで、祝祭感のある公演となった。	11月2日	5,000～ 1,500	754	850	世田谷区民会館
	特別コンサート 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	東京フィルハーモニー交響楽団 開館記念特別演奏会 せたがやジュニアオーケストラと連携している東京フィルハーモニー交響楽団による公演。怪我による指揮者の急な変更があったが、遜色のない演奏を披露し、本格的なオーケストラの響きを堪能させた。	2025年3月15日	8,500～ 1,500	791	750	世田谷区民会館
	ミュージック・ラウンジ	大人がリラックスして楽しめるコンサートのシリーズ。仕事帰りの人たちなどに向けて、金曜の夜に、肩の凝らない内容の演奏会を開催。 坂田明COCODA 枯れたひまわり 親子共演のカルテットということも話題を呼んで満席となり、会場は熱気に包まれた。坂田明のサクソの音色とユーモアのあるトークで、終始観客の心を掴み、魅了した。	5月17日	3,500～ 3,200	263	750 ↓	北沢タウンホール
		上田正樹 R&B BAND with ダイヤモンド ☆ ユカイ Soul to Soul リズム&ブルースの空気に包まれた会場は非常に盛り上がり、ゲストとの相性もよく、高評価を得た。台風10号により、交通機関の運休も発生したため、希望者への払戻しを行った。	8月30日	3,500～ 3,200	238		北沢タウンホール

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
身近に親しむ演奏会	ミュージック・ラウンジ	SOLO-DUO — Synchronized Singing ギラ・ジルカ&矢幅歩のヴォーカル、ギター、ベースというシンプルな編成ながらも、声とハーモニーの魅力が伝わる選曲とアレンジで、ゆったりと楽しんでもらえるライブとなった。	11月15日	3,500～ 3,200	199	↑ 750	北沢タウンホール
活動をつなぐ演奏会	異分野とのコラボレーション	お話と音楽でつづる「鉄道と音楽」 池辺晋一郎音楽監督が、鉄道愛好家の女優・村井美樹をゲストに迎え、鉄道と音楽にまつわるトークを繰り広げた。合間に、国府弘子率いるジャズ・トリオが軽妙な音楽を展開して、愛好家たちを楽しませた。	2025年3月1日	4,000～ 3,600	284	240	成城ホール
	せたがや名曲コンサート	フォーレ「レクイエム」 実行委員会を組む、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する恒例のコンサート。地味な演目であったが、広報に力を入れ、効率的に券売を行って、多くの来場者を得ることができた。	2025年2月23日	2,500～ 1,000	1,425	1,400	昭和女子大学 人見記念講堂
	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。 (1)世田谷美術館「須田国太郎の芸術」展関連企画 『Punto de vista——見つめた先へ』 新進気鋭のギタリスト二人によるデュオで、関心を集めた。ギターの柔らかな響きとあたたかな雰囲気漂い、心地良い空間が生み出された。	8月31日	2,000	111	未定	世田谷美術館 講堂
		(2)「かわジャズLIVE! Rainbow」 連携する川崎市の「かわさきジャズ2024」に、世田谷区からのゲストバンドとしてHobobeesを派遣した。	10月12日	無料	—		新百合ヶ丘駅 南口広場
ワーク ショップ・ 講座	音楽講座	区民がいろいろな形で音楽の楽しさに触れられる企画を実施した。 せたおん夏休みスペシャル! その1 テルミンの巻 小学生を対象に、理論中心の【電波の不思議にチャレンジクラス】と実践中心の【テルミン 60分でマスタークラス】を実施した。	7月20日	500	18	90	粕谷区民センター
		せたおん夏休みスペシャル! その2 スティールパンの巻 小学生を対象に、各種のスティールパンを体験して、スティールパン・オーケストラと共に、短い曲を演奏してみる講座。2回開催。	8月5日	500	27		玉川せせらぎホール
		音楽と新たに出あうための、みんなでトークイベント 「せたおん音盤ミーティング」 区民と共に作ったイベント。参加者がお気に入りのレコードを一枚ずつ持ち寄り、エピソードを語り合うトーク&リスニング・イベント。	12月8日	無料	7		パブリックシアター 音響スタジオ
		「マイ・プレイリスト」 前野健太(シンガーソングライター)と本秀康(イラストレーター／漫画家)が、カバー曲の楽しみについて考察し、語るトークイベントを開催した。	2025年2月1日	1,000	96		梅丘パークホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
次の時代の ための プログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指して、年間を通じて活動。週一度の練習だけでなく、合宿や東京フィルハーモニー交響楽団のリハーサル見学なども行った。	通年	月額5,000	103	85	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ交流イベント	アンサンブルコンサート in 下北沢 せたがやジュニアオーケストラの存在を区民に浸透させていくため、「第33回下北沢音楽祭」に参加。「金管&打楽器アンサンブル」と「木管&弦楽アンサンブル」の、2つに分かれて、昼夜2公演を実施した。	7月6日	500	364	200	北沢タウンホール
	せたがやジュニアオーケストラ特別演奏会〈世田谷区民会館オープニングイベント〉[区受託]	メンバー全員が揃って、取り組んだ活動の成果を問う、年1回の定期演奏会。今回はオープニングイベントの特別演奏会となり、演奏会後半で、連携オーケストラである東京フィルハーモニー交響楽団との合同演奏を行った。	2025年3月16日	2,000～800	682	600	世田谷区民会館
	学校への訪問企画	多くの子どもたちに音楽を身近に感じてもらうため、コンサートやワークショップを通じて、学校に生の音楽を届けた。区立の小・中学校に希望を募り、それぞれの学校の状況や要望に合わせて実施した。	11月28日～ 2025年1月31日	無料	1,067	1,000	区立小・中学校 計5校
区民の表現の場の 提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	Setagaya Super Band NIAGARA SUNDAY 世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演。新世田谷区民会館の開館を祝した特別公演で、音楽監督を務めた井上鑑はじめポップス界のレジェンドメンバーによる演奏は、大好評を博した。	2025年1月26日	5,000～ 3,500	808	700	世田谷区民会館
	せたがやMusicフェス 〈世田谷区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	オープニングイベントで、唯一の区民参加型コンサート。区内で活動するアマチュアの音楽団体を募集し、応募の73団体から、8団体を選出して、実施した。バラエティに富んだジャンルの音楽が揃い、観客から好評を得た。	10月12日	無料	531	—	世田谷区民会館
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、アマチュア3団体の活性化、発展を側面から支援した。	通年	—	3団体	3団体	—
地域活性のための 文化プロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の公共施設や街角などで、コンサートを実施した。 (1)せたおんまちなかコンサート カントジファ きぬたの街角で 世田谷美術館の協力により、講堂だけでなく、正面入り口前の広場でも演奏することができ、散歩中の親子連れなど多くの観客を集めた。	5月11日	無料	246	1,000 ↓	世田谷美術館 講堂、広場

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域活性 のための 文化プロ ジェクト	せたがやまちかど・まちなか コンサート	(2)せたおんまちなかコンサート 宇宙を旅する「小さな音楽会」 おなじみの出演者による歌のコンサートで、テーマを設け、老若男女が楽しめる内容となった。当日券など入場方法を工夫し、空席を減らすことができた。	7月7日	無料	490	↑ 1,000	成城ホール
		(3)まちかどテルミンコンサート あまり演奏会が開かれない会場とあって、近くに住む方々が多く集まり、アット・ホームな雰囲気の、楽しい公演となった。	7月20日	無料	71		粕谷区民セン ター
		(4)まちかどバカンス・コンサート ホール・スタッフの協力を得て、照明・音響の効果も施し、スティールパン・オーケストラの熱気あふれる演奏で、会場は大いに盛り上がった。	8月5日	無料	139		玉川せせらぎ ホール
		(5)せたおんまちなかコンサート 福原みほ アコースティック・クリスマス 多くのファンを持つ歌手が登場。定番とオリジナル曲を合わせた“クリスマスプ ログラム”を熱唱して、たいへん好評だった。	12月14日	無料	470		北沢タウンホー ル
	Setagaya Arts Place [区受託]	区民に身近な場所で気軽に文化・芸術に触れる機会を提供するため、区が主 催するイベントや地域のにぎわいとなっている商店街のイベントに、芸人やアー ティストを派遣した。14か所で全16回実施。	5月19日～ 2025年3月2日	無料	—	—	区内各所
	ラウンジコンサート [区受託]	イカメラ探鼎談 井上鑑×亀田誠治×宮川彬良の気ままなトーク(2回) 世田谷区民会館音楽事業アドバイザー3人が、お互いの想いや新しいホール の可能性について、ざっくばらんに語り合う会を開催した。	①11月5日 ②2025年2月6日	無料	①80 ②80	—	世田谷区民会館 2階ラウンジ
		四家卯大 世田谷区民会館が区民の憩いの場、交流の場となるよう、ラウンジスペースを 利用して、アドバイザー推薦の音楽家による無料のライブを実施した。	2025年3月6日	無料	120	—	世田谷区民会館 2階ラウンジ
音楽事業 部広報	ホストタウンコンサート [区受託]	世田谷区がホストタウンとなっているアメリカ合衆国発祥の音楽、ゴスペルを 区民が気軽に楽しむコンサートを実施した。	2025年3月1日	無料	300	—	世田谷区民会館 エントランスホー ル
	「情報ガイド」をはじめとする 各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情 報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報として の展開を推進した。	通年	—	—	—	—

(4)世田谷文化的生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
市民活動 支援	せたがや国際交流センター の運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行った。また、行政情報、生活・文化情報のほか、国際交流などの地域活動団体の紹介を行った。	通年	—	4,927	4,000	せたがや国際交 流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体に対して、事業のPRや事業連携等を行った。 【せたがや国際交流センター館内展示企画 連携】 ①(一社)日本国際教育協会 ②(公財)東京YMCA 多文化共生スペース▽ ③(NPO)アジアの新しい風 ④(NPO)エンチャイルド ⑤(NPO)国際ボランティア学生協会 ⑥(NPO)CFFジャパン ⑦Cultural Fusion Hub ⑧JCA玉川 ⑨JCA千歳船橋 ⑩KiyoRinPark ⑪イクリスせたがや ⑫ぱすてる ⑬(NPO)インターナショナル世界平和の響き ⑭日本語サークル「わかば」 ⑮日本語教室wbt ⑯世田谷海外研修者の会 ⑰SANCHA ³ 【広報】(一財)世田谷トラストまちづくり、SANCHA ³ 、(福)世田谷ボランティア協会、世田谷区、生活工房、世田谷美術館、向井潤吉アトリエ館など	通年	—	17団体	10団体	せたがや国際交 流センター
国際交流・ 異文化理 解の推進	区民国際交流事業	【第8回せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施した。	11月30日	無料	1,000	—	成城ホール、集 会室
		【国際交流 IN セタがや 2024】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施した。	5月11日	500	194	200	ワークショップ ルーム
	まち歩き	文化施設や商店街、様々な地域イベントをめぐるツアーなどを企画し、世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見しながら交流することで、地域で活動する機会となった。					
		【さんちゃ にほんご まちたんけん】 「外国人のための日本語教室」「日本語サポーター講座」受講者中心に実施。(公財)世田谷区産業振興公社の協力のもと三軒茶屋の商店街と交流しながらまち歩きを楽しんだ。	12月1日	無料	43	20	三軒茶屋周辺
ワーク ショップ・ 講座	【多文化理解講座】 第1回 イスラム文化に触れてみよう ～東京ジャーミイを訪ねる	【さんちゃ にほんご まちたんけん2】 「外国人のための日本語教室」「日本語サポーター講座」受講者中心に実施。(公財)世田谷区産業振興公社の協力のもと、三軒茶屋の商店街と交流しながらクイズ形式でまち歩きを楽しんだ。	2025年3月2日	無料	50	20	三軒茶屋周辺
		主に区民を対象として、文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、共生社会実現に向けての一助とした。 昨年度好評だった、渋谷区大山町にある日本最大のモスク「東京ジャーミイ」の見学会とイスラム文化を学ぶ講座を実施した。	4月27日	500	48	30	渋谷区大山町

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	第2回 外国人のための“英語で野点”	瀬田四丁目旧小坂緑地内において、英語で野点を実施した。あわせて、(一財)世田谷トラストまちづくりの協力を得て、旧小坂家住宅・緑地の紹介を行った。	5月18日	500	18	20	瀬田四丁目旧小坂緑地
	第3回 難民映画祭パートナーズ上映会	上映作品「戦火のランナー」「私は歌う～アフガン女性たちの戦い」 世界難民の日に合わせて国連UNHCR協会との関連事業「難民映画祭パートナーズ上映会」を実施した。	6月21日	500 (学生無料)	119	100	成城ホール
	第4回 夏休み企画 “子ども大使”のアンゴラ共和国大使館訪問	小学校5,6年生を対象に、アンゴラ共和国大使館を訪問した。参加者にとって、国の歴史や自然、食文化やダンスなど異国の文化を体験する貴重な機会となった。	7月30日	無料	20	10	アンゴラ共和国大使館
	第5回 「やさしい日本語」で伝えよう	日本語が少しでも分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を実施した。	9月14日	500	64	60	セミナールーム
	第6回 オーストリア・ウィーン市ドゥブリング区姉妹都市提携40周年記念「オーストリアワインの魅力」	姉妹都市提携40周年を機に、ワインを通してオーストリア食文化の奥深さを考察するセミナー。講師のレクチャーとワインの試飲を楽しみながら、ウィーン市ドゥブリング区の理解を深めた。	10月5日	1,000	40	60	ワークショップルーム
	姉妹都市交流プログラム「紙漉き体験・団扇づくりワークショップ」[協力]	姉妹都市オーストラリア・バンバリー市からの小学生親善訪問団を対象に紙漉きを体験し、オリジナル団扇づくりのワークショップを実施した。	9月24日	—	18	18	山崎小学校・伝統工芸室
	姉妹都市交流プログラム「テーブル茶道体験ワークショップ」[区受託]	姉妹都市カナダ・ウィニペグ市からの中学生親善訪問団と、前回ウィニペグ市を訪問した世田谷区の中学生訪問団を対象に「テーブル茶道」体験型交流ワークショップを実施した。	2025年1月31日	—	27	27	世田谷区民会館・集会室
	にほんご交流会	「中国文化の魅力について話そう～にほんご交流会in日本大学文理学部」 中国人留学生が中心となり、日本人にもっと伝えたい中国文化や歴史について発表。後半は日本人とテーブルを囲み交流した。	2025年1月11日	500 (学生無料)	41	未定	日本大学文理学部
		「にほんご交流会INテンプル大学」 テンプル大学で日本語を学習している学生が、毎回、テーマに沿って世田谷を調査して、やさしい日本語を用いて発表をした。後半はその話題で、参加者である日本人との交流を行った。	①7月6日 ②10月26日 ③11月23日 ④2025年2月15日 ⑤2025年3月29日		①64 ②74 ③60 ④62 ⑤64		テンプル大学ジャパンキャンパス
	韓国語でおしゃべり	国際交流センターの韓国人スタッフによる韓国語講座を実施した。	毎月2回程度 22回	無料	84	—	せたがや国際交流センター
	韓国語でおしゃべり&クッキング	韓国のインスタントラーメンを題材に韓国の食文化について考察した特別編。	12月12日	500	4	—	ワークショップルーム
外国語で絵本読み聞かせ	国際交流センターの外国人スタッフによる①外国語で絵本の読み聞かせ会 ②折紙デコレーションを実施した。	通年	無料	①345 ②735	—	せたがや国際交流センター	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域日本語教育の総合的な体制づくり	外国人のための日本語教室	第1期 週2回(水・土) 20回 ※オリエンテーション 6月1日	6月8日～8月14日	無料 (テキスト代のみ)	15	20	セミナールーム
		第2期 週2回(水・土) 20回 ※オリエンテーション 7月6日	7月13日～9月18日		16	20	オンライン
		第3期 週2回(水・土) 20回 ※オリエンテーション 9月18日	9月21日～11月27日		15	20	セミナールーム
		第4期 週2回(水・土) 20回 ※オリエンテーション 10月5日	10月12日～12月25日		11	20	オンライン
		第5期 週2回(水・土) 20回 ※オリエンテーション 12月4日	12月7日～2025年2月26日		19	20	男女共同参画センターらぶらすほか
	せたがや日本語サポーター講座	①初級 オンライン 週1回(全5回)	6月9日～7月7日	無料	37	40	オンライン
		②初級 オンライン 週1回(全5回)	10月13日～11月10日		42	40	
		③初級 オンライン 週1回(全5回)	2025年1月26日～2月23日		46	40	
		中級編(全1回)	12月8日		60	30	セミナールーム
	【その他】						
	定住外国人等向け「しごとのためのにほんご」	厚生労働省が実施している定住外国人のための「しごとのためのにほんご」の講座を区(経済産業部)と共催して実施した(2期)。	①5月28日～7月25日 ②10月1日～11月28日	無料 (テキスト代のみ)	①8 ②9	各20	セミナールームほか
	外国人のための労働相談会	厚生労働省が実施している定住外国人のための労働相談会を区(経済産業部)と共催して実施した。	11月28日	—	19	未定	世田谷産業プラザ3階大会議室
	外国人のためのリレー専門家相談会	外国人在留支援センターが実施する、主に留学生向けに仕事に関する専門家相談会を区(文化・国際課)に協力して実施した。	7月20日	—	13	未定	北沢タウンホール
国際事業部広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信した。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体の情報、外国人への生活に役立つ情報、区内の施設案内なども併せて発信した。 (ホームページ、Facebook、X、Instagram、メールマガジン、ニュースレター)	通年	—	—	—	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	美術家たちの沿線物語 小田急線篇	世田谷区内を走る鉄道と、その沿線で活動した美術家たちの創作と交流の足跡を辿る「沿線物語」シリーズの完結篇。1927年に新宿～小田原間で開通した小田原急行鉄道(現・小田急電鉄)の沿線を取り上げ、白と黒の会(経堂界隈)や、粘土人会(成城界隈)といった美術家たちの集いをはじめ、画家の高山辰雄や横尾忠則、写真家の荒木経惟など、沿線ゆかりの作家たちが織りなす様々な物語を紹介した。	(2月17日)～ 4月7日	一般500ほか	2,146 (総計: 9,273)	1,000 (総計: 10,000)	世田谷美術館
		レクチャー「“松原のアトリエ”に集ったアーティストたち——京王・井の頭沿線の思い出」 講師:巖谷國士(フランス文学者、批評家)	4月6日	無料	123	—	
	民藝 MINGEI ——美は暮らしのなかにある	約100年前に思想家・柳宗悦が説いた民衆的工芸、「民藝」。日々の生活の中にある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる、この「民藝」のコンセプトが、昨今改めて注目されている。本展では、民藝を「衣・食・住」というテーマでひも解き、約150件の品々を展示したほか、今なお続く民藝の産地に作り手を訪ね、その手仕事を紹介した。現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころとなった。	4月24日～ 6月30日	一般1,700 ほか	58,624	54,000	世田谷美術館
		民藝フィルムアーカイブ上映会 「小鹿田焼——親から子へ 脈々と受け継がれるやきものの里」	5月6日	無料	125	—	
		講演会「暮らしのなかの民藝」 講師:森谷美保(本展監修者・美術史家)	5月19日	無料	145	—	
		トークイベント「現代の民藝をどう捉えるか？」 講師:濱田琢司(本展監修協力・関西学院大学文学部教授)、テリー・エリス／北村恵子(MOGI Folk Art ディレクター)	6月1日	無料	206	—	
		公開制作「鳥越竹細工のいま」 講師:柴田恵(竹のめぐみ主宰)	6月9日	無料	146	—	
	生誕130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術——三つのまなざし	京都に生まれ、美学・美術史家として世に出る一方、自ら絵筆を執り、「東西の絵画の総合」を掲げて独自の絵画表現を追求した画家・須田国太郎(1891-1961)。本展では、初期から晩年までの代表作のほか、若き日にヨーロッパ各地を訪れ撮影した写真や、造詣の深かった能・狂言の名舞台を描いたデッサンなど、これまであまり広く知られなかった作品・資料を紹介し、様々な須田の“まなざし”から、その芸術観を改めてひも解く機会となった。	7月13日～9月8日	一般1,400 ほか	9,051	16,000	世田谷美術館
		レクチャー1「須田国太郎の画業をめぐって」 講師:橋秀文(目黒区美術館館長)	8月11日	無料	68	—	
		トーク「担当学芸員による展覧会解説」 講師:池尻豪介(世田谷美術館学芸員)	8月18日	無料	104	—	
		レクチャー2「須田国太郎の訪れたスペイン」 講師:山道佳子(慶應義塾大学文学部教授)	8月24日	無料	74	—	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	生誕130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術——三つのまなざし	スペシャル・ライブ「Punto de vista——見つめた先へ」 出演：閑喜弦介(guitar)、徳永真一郎(guitar)、神田智子(vocal/guest)	8月31日	2,000	111	—	世田谷美術館
		レクチャー3「須田国太郎が描いた能の世界」 講師：長山桂三(観世流能楽師 重要無形文化財総合指定保持者)	9月1日	無料	61	—	
	生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ	1920～30年代のメキシコで画家・美術教育者として活動した北川民次(1894-1989)。帰国後は東京・池袋を経て、愛知・瀬戸を拠点に鋭い批判精神に満ちた絵画を発表する一方、独自の美術教育を実践し、良質な絵本の制作・普及にも励んだ。約30年ぶりの大回顧展となる本展では、「民衆へのまなざし」「壁画と社会」など、北川がメキシコから日本へと移動しながら追求した5つのテーマに注目し、その足跡を多角的に検証した。	9月21日～ 11月17日	一般1,400 ほか	13,683	16,000	世田谷美術館
		ミニレクチャー「30分でよくわかる！北川民次展のポイント」(2回) 講師：塚田美紀(当館担当学芸員)	①9月29日 ②11月16日	無料	①61 ②112	—	
		レクチャー「北川民次の歩んだ道」[世田谷美術館友の会共催事業] 講師：塚田美紀(当館担当学芸員)	10月12日	無料	105	—	
		トーク1「戦後日本の美術教育と北川民次」 講師：穴澤秀隆(元『美育文化』編集長、NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事、國學院大學栃木短期大学非常勤講師)	10月26日	無料	54	—	
		トーク2「現代メキシコで生まれている壁画と版画—人々の声と表現」 講師：清水チナツ(カルチュラルワーカー、PUMPQUAKES)	11月9日	無料	83	—	
	東急 暮らしと街の文化 —100年の時を拓く—	“企業と美術シリーズ”の第5弾として、田園都市づくりのパイオニアであり、世田谷の住宅地としての発展にも深く関わる“東急”を取り上げた。多数の鉄道・バスにまつわる資料や東急の街づくりに関する歴史史料、映像、模型をはじめ、絵画や彫刻、工芸、写真など、沿線に居住した美術家たちの作品も交え、幅広い視点から、100年にわたる“東急”の歴史と文化的な活動を紹介した。	11月30日～ 2025年2月2日	一般1,400 ほか	21,065	18,000	世田谷美術館
		レクチャー1「東急がつくった沿線、沿線がつくった東急」 講師：高嶋修一(青山学院大学 教授)	12月22日	無料	111	—	
		レクチャー2「東急の車両設計に携わって」 講師：荻原俊夫(東京急行電鉄 車両部OB)	2025年1月11日	無料	140	—	
		レクチャー3「東急の街づくり」 講師：高橋俊之(東急株式会社 取締役専務執行役員 都市開発本部長)	2025年1月13日	無料	147	—	
		レクチャー4「なるほどなっとく、とうきゅうのひみつをさぐる」 講師：竹内敏浩(東急株式会社 東急100年史担当、鉄道子ども会会長)	2025年1月13日	無料	85	—	
		見学会「バスと電車の安全を学ぶ」	2025年1月25日	無料	20	—	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	世田谷美術館コレクション選緑の惑星―セタビの森の植物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現された多様な植物にまつわる作品を一堂に展示する内容。第1章《森林》、第2章《風景》、第3章《庭園》、第4章《花園》、第5章《楽園》の5つの章で構成し、そして第6章は参加コーナー《みんなでつくるセタビの森》とした。	2025年2月27日～ (4月13日)	一般500ほか	8,234 (総計: 13,125)	6,000 (総計: 10,000)	世田谷美術館
		プレワークショップ「セタビの森の植物をつくろう」(区内小学校11校と保育園1校)	10月5日～ 2025年1月27日	無料	1,245	—	
		展覧会見どころ案内「セタビの森の歩き方」	2025年3月1日	無料	56	—	
調査・研究	調査・研究						
	企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行った。	通年	—	—	—	世田谷美術館
	収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行った。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資した。	通年	—	350部	350部	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	今年度の事業のまとめとして美術館活動を総括し、記録する『年報』を編集した。	通年	—	300部	300部	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開した。					
		第Ⅲ期 美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇	(2023年12月2日)～4月7日		1,999 (総計: 28,480)		
		第Ⅰ期 アートディレクターの仕事——大貫卓也と花森安治	7月20日～10月14日	一般200ほか	17,543		
		第Ⅱ期 かわりゆくもの、かわらないもの ——TRANSITION	10月26日～2025年1月13日		12,689		
		第Ⅲ期 1980年代のイギリス美術——展覧会の記憶とともに	2025年1月25日～(4月6日)		14,256 (総計: 16,298)		
		本展解説レクチャー[友の会共催事業] 講師:塩田純一(多摩美術大学客員教授／美術評論家)	2025年1月29日	無料	94	—	世田谷美術館
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施した。					
		第Ⅰ期 空模様と民家——向井潤吉の民家日和	4月2日～9月1日	一般200ほか	2,561		
		第Ⅱ期 向井潤吉の心をとらえた 名もなき風景	9月28日～2025年3月9日		2,550		向井潤吉アトリエ館
	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施した。					
		第Ⅰ期 1950年代の写真——アメリカ、ヨーロッパ、アジアの街	4月2日～9月1日	一般200ほか	1,922		
		第Ⅱ期 清川泰次 雑誌、書籍、新聞の仕事	9月28日～2025年3月9日		877		清川泰次記念ギャラリー

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
収蔵品展	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施した。					
		第Ⅰ期 開館20周年記念 Colorful——宮本三郎 彩られた世界	4月2日～ 9月1日	一般200ほか	1,547	3,600	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 開館20周年記念 Journeys——宮本三郎 旅する絵画	9月28日～ 2025年3月9日		1,646		
資料収集・ 管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けた。新規委託物品331点(取得評価額128,166,000円)。	通年	—	—	—	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理] ・収蔵品管理システムの運用	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保った。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施した。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理した。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行った。修復、額装など123点。貸出については、貸出10件46点(うち資料7点)、返却9件30点(うち資料2点)。	通年	—	—	—	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオ視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行った。	通年	—	13,077	12,000	世田谷美術館
ワーク ショップ・ 講座	講座・ワークショップ	美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催した。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催した。また、ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・コンサート、ホームページからの動画配信など様々な普及活動を行った。					
		【100円ワークショップ】 「沿線土産」(美術家たちの沿線物語 小田急線篇展) (1回)	4月6日	100	125	1,545 ↓	世田谷美術館創作室
		「折り染めで作るじゃばらノート」(民藝 MINGEI) (10回)	4月27日～6月29日の毎土曜日	100	1,672		
		「体験! あぶらえ 須田国太郎編」(須田国太郎の芸術) (15回)	7月13日～8月31日の毎土曜日と8月中の毎金曜日	100	854		
		「ブローチェ・デ・マルモル」(北川民次展) (9回)	9月21日～11月16日の毎土曜日	100	760		
		「オリジナルラッピング電車でネームタグをつくろう」(東急 暮らしと街の文化) (10回)	11月30日～2025年2月1日の毎土曜日	100	796		

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	講座・ワークショップ	こども映画ワークショップ[2024]	7月30日、31日 8月6日、7日、31日	4,000	13	↑ 1,545	世田谷美術館
		ナイトツアー2024	8月24日	500	48		世田谷美術館
		世田谷美術館×世田谷区民健康村交流ワークショップ「森のうた」	9月22日、23日	7,900	16		川場村
		宮本三郎記念美術館 サマー・ワークショップ2024 わたしのカラーコーディネート	8月10日～12日	無料	70		宮本三郎記念美術館
	美術大学	講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、定員60名で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催した。また修了者を対象としたステップアップ講座も開催した。	通年	本科70,000 ／ステップアップ講座2,000 ～10,000	503	460	世田谷美術館 オンライン
	パフォーマンス						
	プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行った。(1回)	2025年3月15日	無料	102	280	世田谷美術館
	パフォーマンス等イベント	「Performance Residence in Museum 2024-25」 当館の建築空間や、教育普及の取組みを活かしたイベントやアーティストの創造支援等を実施した。参加アーティスト：涌田悠(短歌を読むダンサー／振付家)	10月4日～ 11月24日 (期間内の15日間)	無料	299	190	世田谷美術館 オンライン
子どもと学 校プログラ ム	美術鑑賞教室	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施した。またそのための区立小学校への出張授業を実施(19校)した。また、ガイドブックの作成を行い全小学校4年生と全中学生に配布した。(計90校)					
		【小学生】美術鑑賞教室・来館者数 6,560人 年間61校(63日) 無料鑑賞券利用者171人	5月～2025年3月	—	(ガイド配付数)6,560	17,300 (全90校)	世田谷美術館 区内小中学校
		【中学校】個別鑑賞教室・来館者数 768人	5月～2025年3月	—	(ガイド配布数)12,303		
人材育成 プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、博物館学実習生や学芸大学インターン生などを育成した。 (1)博物館実習 学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、「博物館学芸員資格過程」における「博物館実習」の講義、実習を行った。(11日間)	6月～11月	10,000	23	40 ↓	世田谷美術館 オンライン

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
人材育成 プログラム	学校との連携	(2)インターンシップ 東京学芸大学と連携してインターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区内小学校4年生への事前(もしくは事後の)出張授業を行う特別プログラムを実施した。(区内小学校19校)	通年	—	インターン生 10 実施校児童 1,873	↑ 40	世田谷美術館 区内小学校
アクセシビ リティ向上 事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置した。	通年	—	41	8	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	区内小学校と美術館の連携した取組みについての研修会を行った。	通年	無料	39	300	世田谷美術館
区民の表 現の場の 提供	世田谷区民展	世田谷区在住、在勤、在学者、または当館ボランティア、友の会会員や世田谷区を拠点にして制作をされている方、さらに群馬県・川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示した。	2025年3月14日 ～22日	無料	282	250	世田谷美術館
	区民ギャラリー等の貸出 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行った。	通年	1日あたり1室 13,820ほか (利用は6日単位)	74,929	75,000	世田谷美術館
	美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行った。(利用団体数126)					
	清川泰次記念ギャラリー区 民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行った。(利用団体数43)					
	美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行った。(利用団体数23)					
地域活性 のための 文化芸術 事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行った。	通年	無料	212	250	世田谷美術館 ほか
	さくら祭	砧公園のお花見客への当館のPRを目的として、エントランス広場でのミニワークショップ、フリーマーケット、「春の盆踊り！みんなで輪になって葉っぱのダンス《光合成》を踊ろう」など行った。	2025年 3月29日、30日	—	1,816	3,000	世田谷美術館
美術館 広報	美術館広報	当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信した。	通年	—	—	—	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	①「ニュースレター 美術館だより、友の会だより」年3回、6月・10月・2025年2月発行、各1,500部の発行 ※友の会分をあわせると各3,000部 ②「年間予定表」2025年3月発行、34,500部の発行	①6月、10月、 2025年2月 ②2025年3月	—	39,000部	54,500部	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	伊藤潤二展 誘惑	伊藤潤二は、1986年のデビュー以来、その緻密かつ繊細な画風と大胆な物語構成で人気を博し、日本のホラー漫画界を牽引してきた。アートとして評される美麗な作品と、奇抜な発想を独創的な世界観に昇華させる伊藤の才能は、日本だけでなく20以上の国や地域でも翻訳・出版されている。 本展では、伊藤潤二の初の大型原画展として、代表作『富江』や『うずまき』などのシリーズ漫画と傑作短篇漫画を、貴重な原画や手書き資料を元に紹介した。さらに独自のホラーへの哲学や創作活動の舞台裏に迫り、日本が世界に誇るJUNJI ITOの魅力を伝えた。 本展は国内はもとより海外各国から来館者があり、歴代1位の来館者数となった。	4月27日～ 9月1日	1,000～300	77,198	24,750	世田谷文学館
	シーズン展示 小説と映画の世紀展 追悼・ 菅野昭正名誉館長	世田谷文学館名誉館長・菅野昭正の評論『小説と映画の世紀』をもとにした展示と上映会を行った。「小説」と「映画」の芸術ジャンルを比較し考察する本書は、フランス文学者として、また文芸評論家として国内外の数多くの文学作品と向き合った菅野ならではの視点による、激動の20世紀の思想史を垣間見るものでもある。本書の言説から、後世に向けた菅野の「眼差し」を追う展示構成とした。 映画ポスターやパンフレットを当館収蔵の映画関連資料とともに紹介し、また、菅野昭正関連資料については、文芸誌「すばる」(2018年3月～19年2月号)に連載した本作の自筆原稿をはじめ、読売文学賞受賞作『ステファヌ・マラルメ』(1985年)の初出誌、当館での「作家の館長対談」記事などを展示した。会場内では、映画『第三の男』(1949年)を常時上映したほか、近隣映画館の下高井戸シネマとのコラボ上映企画などを実施。講演会や上映トークなども行い、小説と映画の関係について、改めて考える機会となった。	9月21日～ 10月20日	無料	2,542	2,000	世田谷文学館 1階文学サロン
	漫画家・森薫と入江亜季 展 —ペン先が描く緻密なる世界—	ドラマティックなストーリー展開と言葉選び、緻密な筆致に支えられた広大な世界観を描き出すことで知られる漫画家、森薫と入江亜季。二人の作家に共通する特徴として、ペンとインクによる完全なるアナログでの原稿執筆があげられる。本展では、森薫の『エマ』『乙嫁語り』、入江亜季の『乱と灰色の世界』『北北西に曇と往け』などの作品をリードに、両作家の最初期の同人誌作品をはじめ、自筆原稿、カラー原画や一枚絵などを展示し、網羅的に作品を紹介した。さらに、両作家の画材や作画机の様子の写真、取材資料、作家による漫画制作の工程などをパネル展示し、鑑賞者に漫画作りを身近に感じられる空間づくりを目指した。展示を通して、漫画家のみならず仕事への取り組み方やモノづくりを目指す方々へ、創作意欲を刺激する企画となった。また、本展開催中には、森氏を講師に、高校生向けワークショップ「生業さがし」を開催。参加者の目の前で森氏の『乙嫁語り』の作画の様子を披露した。講義では漫画を書くことや創作物を発表すること、仕事への意義を説き、若者の生業への道しるべとなったといえよう。	11月2日～ 2025年2月24日	1,000～300	36,001	20,000	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や紀要としてその成果を公表した。今年度は昨年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉02」を刊行するとともに、ホームページからのPDFダウンロードも可能とした。	通年	—	—	—	世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が収蔵する貴重な文学資料を核に、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料とゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く親しむ機会を提供した。					
		【前期】 巴里土産 小堀杏奴油彩画展 ～滞欧作を中心に～ 同時開催「ムットーニ コレクション」	4月20日～9月1日	200～100	6,561	15,000	世田谷文学館
		【後期】 世田谷文学館コレクション展 寺山修司展 同時開催「ムットーニ コレクション」	10月5日～ 2025年3月30日	200～100	19,603		
資料収集・ 管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集、および世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進めた。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫及び周辺部の環境調査のモニタリングを年間を通じて実施し、3月には燻蒸を行った。コレクション保護のための収蔵庫の耐震補強を行った。また、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行った。逼迫した課題である収蔵庫狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行った。 2025年3月31日現在107,237点の収蔵品を保管・登録(2024年度新規収蔵品:500点) 資料貸付:3件12点 特別観覧:8件11点 特別閲覧:11件172点	通年	—	—	—	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行った。10数年使用してきたOAシステムを最新のクラウド版に移行し、詳細にデータ検証を行ったのち、ライブラリー内での検索を同システムで稼働した。ホームページ上での収蔵品検索についても次年度早々に公開できるよう準備を進めた。	通年	—	—	—	世田谷文学館
地域連携 事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内でのリアルイベント及び、ワークショップのプログラムの開発を進め、子ども対象だけではなく世代間交流イベントなどにより広い層の利用者獲得を目指した。学校や地域と連携して、出張展示・出張ワークショップも引き続き実施した。出張展示キットの全国への貸し出しも行った。出張展示は、全50回(区内、37回)を実施した。 また、令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業の助成を受け、職員研修会、近隣地域でのワークショップ、出張展示用音声コンテンツの開発を行った。					
		日経「星新一賞」出張授業 ショートショート文学賞の日経「星新一賞」受賞者による出張授業を共催開催した。 講師:藤崎慎吾(作家)	7月28日	無料	15	100,000 ↓	世田谷文学館

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	施設見学～航空機の先進技術とモノづくりについて学び、将来を考えよう～ 「機械の日(8月7日)」に合わせて、航空機用エンジンの整備の様子、歴代の ジェットエンジンの展示を見て、技術の発展などを学ぶ施設を見学した。 共催：日本機械学会動力エネルギーシステム部門 協力：株式会社IHI	8月7日	無料	5	↑ 100,000 ↓	鶴ヶ島市 IHI 鶴ヶ島工場 昭島市 そらの未 来館
		「だれでも小説家 ～ショートショートを書こう～」 参加者は講師の指導のもと、特製のワークシートの手順に添って、2日間でオ リジナルショートショート作品を完成させた。 講師：荒居蘭(作家)	8月8日、9日	無料	28		世田谷文学館
		人形劇「ビーンズ・ドリーム ～まめちゃんのゆめ～」 コミカルでファンタジックな人形劇が人気のつげくわえさんによる人形劇を実 施した。 共催：NPO法人こども劇場せたがや	9月8日	大人1,500 子ども500 (未就学児)	163		世田谷文学館
		「0才からのジャズコンサート」 0才から大人まで楽しめる本格ジャズコンサート。乳幼児もリズムを感じて体 を動かし、二世帯、三世帯の子ども連れ家族で賑わった。(2回公演) ピアノ：クニ三上、ベース：越野振人、ドラムス：横山和明 共催：オフィスヨコタ	11月7日	前売券 大人1,800 (中学生以上) 子ども300 (0才～小学生) 当日券 大人2,100 (中学生以上) 子ども600 (0才～小学生)	310		世田谷文学館
		ワークショップ「生業さがし 漫画家という職業」 様々な職業を知るための高校生向けワークショップ。今回の講師は漫画家の 森薫。漫画を描く際の実践的なテクニックも学んだ。 講師：森薫(漫画家)	11月10日	無料	9		世田谷文学館
		ダンスワークショップ「ことばとからだ ふゆってな～に？」 “冬”から連想したことばやイメージを組み合わせ、グループごとにみんなでダ ンスを作って発表した。 講師：日本女子体育大学ダンス・プロデュース研究部(顧問：高野美和子)	12月8日	100	16		世田谷文学館
		“街の音、なんて言ってる？”ワークショップ 街の風景を楽譜に見立てて演奏し、その曲に詞(ことば)を付ける音楽ワーク ショップを開催。活動の様子は世田谷文学館公式YouTubeに公開。 講師：西村直晃(音楽家) 助成：令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業	12月15日	無料	12		世田谷文学館 周辺屋外

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	演劇ワークショップ「こえとことばの実験室」 みんなで声とからだを使ったエクササイズを体験。そのあと各自が詩や絵本の一節を選び、実際に自分の声で挑戦した。 講師：福本鴻介(俳優)、万里紗(俳優)	2025年1月18日	無料	14	↑ 100,000 ↓	世田谷文学館
		ワークショップ「世界を切り取るみじかい詩」 烏山寺町にある妙壽寺などのお寺を散策して、風景を額縁で切り取り、俳句や詩などの＜ことば＞の作品に仕上げる創作ワークショップを実施した。 講師：佐藤文香(俳人、詩人)、原麻理子(コピーライター、イラストレーター、俳人) 助成：令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業	2025年1月25日	無料	6		本覺山 妙壽寺 ほか
		学校連携ワークショップ「落語を楽しもう～笑いを生み出してみよう」 芦花小学校の4年生が笑いを考察。ワークシートをもとに、グループワークや高座での実演を通じて、古典芸能の落語を学んだ。 講師：楽亭じゅげむ(落語教育家)	2025年1月30日	無料	204		芦花小学校
		ワークショップ「だれでも探検家」 探検家の高橋大輔氏を講師にオンラインで開催。実践的なサバイバルテクニックの紹介、常識に捉われない探検のプロセスを学び、アンケートやクイズ、質問コーナーも交えて双方向、多世代参加型のイベントになった。 講師：高橋大輔(探検家)	2025年2月8日	200	20		世田谷文学館 蘆花恒春園ほか
		出張展示「セタブン人生相談」	4月1日～5月31日	無料	64,309		中央図書館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	4月2日～5月28日	無料	9,500		奥沢図書館 仮 事務所
		出張展示「原田治 OSAMU'S MOTHER GOOSE」	5月29日～12月4日	無料	10,369		川場村 ふじやま ビレジ
		出張展示「山へ！ to the mountains」	5月29日～12月4日	無料	6,640		川場村 なかのビ レジ B棟
		出張展示「SF入門 星新一」	6月6日～8月28日	無料	14,620		奥沢図書館 仮 事務所
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	7月2日～8月2日	無料	43,621		中央図書館
		出張展示「宮沢賢治 幻想紀行」	7月2日～8月30日	無料	7,792		中央図書館プラ ネタリウム
		出張展示「シートン動物記」	7月12日～9月13日	無料	30,908		粕谷図書館
		出張展示「セタブン人生相談」	8月6日～8月30日	無料	500		世田谷区民会館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	8月7日～8月29日	無料	990		コミュニティカ フェななつのこ
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	8月26日～9月30日	無料	3,600		上馬まちづくりセ ンター

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	8月30日～9月25日	無料	355	100,000 ↑ ↓	山崎小学校
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	9月2日～9月20日	無料	472		弦巻中学校
		出張展示「若草物語」	9月20日～ 11月27日	無料	31,803		粕谷図書館
		出張展示「宮沢賢治 幻想紀行」	9月25日～11月1日	無料	330		八幡小学校
		出張展示「セタブン人生相談」	10月2日～ 10月31日	無料	4,500		上馬まちづくりセ ンター
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	10月16日～ 11月6日	無料	659		祖師谷小学校
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	10月19日～ 11月10日	無料	6,650		潮来市 市立図 書館
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	10月19日～ 10月20日	無料	330		代田区民セン ター・代田図書館
		出張展示「SF入門 星新一」	10月26日～ 10月27日	無料	2,000		田園調布雙葉中 学高等学校
		出張展示「SF入門 星新一」	10月30日～ 12月4日	無料	336		池之上小学校
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	11月1日～11月28日	無料	567		若林小学校
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	11月1日～11月29日	無料	509		世田谷小学校
		出張展示「宮沢賢治 幻想紀行」	11月1日～12月3日	無料	3,600		上馬まちづくりセ ンター
		出張展示「台湾はどんな国？」	11月3日	無料	50		ふじみ野市 ふじ み野ステラ・ウエ スト1Fギャラリー
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界(写真展)」	11月6日	無料	134		川崎市 太陽第 二幼稚園
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	11月6日～12月3日	無料	1,061		山野小学校
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界(講演会)」	11月7日	無料	65		川崎市 太陽第 二幼稚園
		出張展示「台湾はどんな国？」	11月10日	無料	10		所沢市 所沢駅東 口市民ギャラリー
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	11月13日	無料	90		経堂コルティ
		出張展示「台湾はどんな国？」	11月16日	無料	10		川越駅東口多目 的ホール(クラッ セ川越内)

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所	
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「台湾はどんな国？」	11月17日～ 11月22日	無料	200	↑ 100,000	本庄ガスECO はにぼんプラザ	
		出張展示「SF入門 星新一」	11月20日	無料	158		山梨県立文学館	
		出張展示「台湾はどんな国？」	11月23日	無料	10		飯能市 市民活 動センター多目 的ホール	
		出張展示「SF入門 星新一」	12月3日～ 12月24日	無料	304		駒留中学校	
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	12月3日～ 2025年1月29日	無料	12,443		粕谷図書館	
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	12月4日～ 12月26日	無料	550		世田谷区民会館	
		出張展示「SF入門 星新一」	12月6日～ 2025年1月7日	無料	3,600		上馬まちづくりセ ンター	
		出張展示「シートン動物記」	12月7日～ 12月27日	無料	1,060		芦花小学校	
		出張展示「井上ひさし ふかいことをゆかいに」	12月24日～ 2025年2月13日	無料	58,811		中央図書館	
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	2025年1月7日～ 2月6日	無料	3,600		上馬まちづくりセ ンター	
		出張展示「詩人 萩原朔太郎」	2025年1月10日～ 1月19日	無料	835		太田市 市立中 央図書館	
		出張展示「セタブン人生相談」	2025年1月16日～ 2月6日	無料	6,055		潮来市 市立図 書館	
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	2025年2月7日～ 2月28日	無料	1,060		芦花小学校	
		出張展示「シートン動物記」	2025年2月7日～ 2月28日	無料	3,600		上馬まちづくりセ ンター	
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	2025年2月8日～ 2月24日	無料	1,200		大田区 田園調 布せせらぎ館	
		出張展示「台湾はどんな国？」	2025年2月18日～ 3月26日	無料	45,026		中央図書館	
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	2025年3月7日～ 3月8日	無料	160		URアクティ三軒 茶屋5号棟集會 所	
		出張展示「若草物語」						
		幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施した。					

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	幼保連携事業 [区受託]	出張展示「宮西達也と子どもたち」	11月29日～ 12月26日	無料	750	200	教育総合セン ター
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	2025年1月10日～ 1月31日	無料	45		三島幼稚園
	新規出張展示バナー制作	出張展示バナー「目と耳で出あう寺山修司 詩と演劇」 出演・協力：榎本了菴、笹目浩之、萩原朔美、横尾忠則 助成：令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業	—	—	—	—	—
		出張展示バナー「やなせたかしの新アラビアンナイト」 協力：やなせスタジオ	—	—	—	—	—
	その他	職員研修「やさしい日本語講座」 外国人対応におけるニーズ確認のため、世田谷区にあるテンプル大学の留学生3名へヒアリングと、職員にアンケートを実施。それをもとに課題を見つけ、職員研修で「やさしい日本語」の役割や活用のポイントを実践的に学んだ。 講師：黒田友子(やさしい日本語アドバイザー) 助成：令和6年度文化庁Innovate MUSEUM事業	12月13日	無料	12	—	世田谷文学館
講演会等 事業	企画展・コレクション展・ライ ブラリー関連講演会、上映 会、コンサート等事業	追悼講座「大江健三郎を語り継ぐ」 (1)「大江健三郎の世田谷」 講師：尾崎真理子(文芸評論家) (2)「戦後もまた反復される大江健三郎の普遍性」 講師：島田雅彦(小説家) (3)「大江健三郎とフェミニズム」 講師：池澤夏樹(小説家)	(1)4月20日 (2)4月21日 (3)4月28日	(1)(2)(3) 1,000	(1)90 (2)102 (3)102	—	世田谷文学館
		【伊藤潤二展 関連イベント】 (1)伊藤潤二&中川翔子トークライブ (2)ライブドローイング (3)公式イラスト集付きサイン会(2回)	(1)5月25日 (2)6月16日 (3)7月14日 8月18日	(1)1,000 (2)500 (3)各回 4,180	(1)134 (2)108 (3)各回 100	500	世田谷文学館
		【小説と映画の世紀展 関連イベント】 (1)記念対談「菅野昭正先生の思い出」 野崎 歓(フランス文学者・翻訳家・評論家)× 塚本 昌則(フランス文学者・翻訳家) (2)①トーク『ベニスに死す』 平野啓一郎(小説家) ②映画上映会『ベニスに死す』 (3)①トーク『時計じかけのオレンジ』 島田雅彦(小説家) ②映画上映会『時計じかけのオレンジ』	(1)9月28日 (2)10月12日 (3)10月19日	無料	(1)64 (2)①52 ②60 (3)①54 ②70		世田谷文学館
		【漫画家・森薫と入江亜季展 関連イベント】 (1)森薫先生×入江亜季先生 対談イベント (2)アイスランド大使館見学会 (3)青騎士交流会 in セタブン (4)『マンガの原理』刊行記念 公開マンガ編集部	(1)11月30日 (2)12月6日 2025年 (3)1月19日 (4)2月22日	(1)1,000 (2)100 (3)無料 (4)無料	(1)114 (2)17 (3)142 (4)60		(1)(3)(4) 世田谷文学館 (2) 駐日アイスランド 大使館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
講演会等 事業	セタブンマーケット	広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」を5年ぶりに開催。「漫画家・森薫と入江亜季展」と連動して多文化交流をテーマとした。国際事業部の企画協力、アイスランド大使館及び中央アジア5か国の大使館の協力を得て、大使館の出展ブースをはじめ、独立系書店や中央アジアの雑貨・食品の出店、ウズベキスタンダンスの実演、作家のライブパフォーマンスなど多彩なプログラムを実施し、当日無料の企画展、コレクション展とともに館全体でイベントを盛り上げた。	11月16日、17日	無料	3,818	2,000	世田谷文学館
		多文化交流の一環として、設営・解体作業を含むモンゴルゲルの体験、羊の骨占い(有料)、ウズベキスタンの民族衣裳試着など体験型プログラムを2階講義室で実施した。	11月16日、17日	無料 (骨占い有料)	1,370	—	
	地域のまつり等との連携	地域催事: 蘆花まつりに協力し、館広報を行った。	10月27日	無料	—	500	蘆花恒春園
活動支援・ 共催事業	市民活動支援など	文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、区民の生涯学習の要望に応えた。	通年	—	523	500	世田谷文学館 ほか
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行った。(6日間)	7月24日～26日 7月30日～8月1日	無料	4	5人以内	世田谷文学館
	職場体験などの受入	博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムなど、中学校などの要望に応じて、職場体験の受け入れを行った。	通年	無料	42	30	世田谷文学館
ライブラ リーの運 営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営した。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行った。	通年	—	24,667	15,000	世田谷文学館
文学館広 報	文学館広報	新聞広告や印刷物のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を継続した。特に各展覧会では、マスコミ向けの内覧会を開催し、記者が会場に出向き記事を寄稿することで、詳細な情報が全国配信された。また、今年度は訪日外国人旅行者が利用するサイト(旅行先情報サイトやホテルのサイト)などからも企画展情報が配信されるなど、館の情報を取り上げるメディアの種類が多様化した。	通年	—	—	—	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとわラジオ」放送 文学館ニュースの発行 「セタブンパス」事業	文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとわラジオ」の放送、文学館ニュースを年2回発行した。 ◇「ほんとわラジオ」(エフエム世田谷83.4MHz 毎週木曜日11:00～11:30 パーソナリティ・河西美紀) ゲスト:(4月)星マリナ、(5月)小堀鴎一郎、(6月)キーン誠己、(7月)伊藤潤二、(8月)小川雪郎、(9月)野崎歓、(10月)木下陽香、(11月)大場渉、(12月)柚木麻子、(2025年1月)笹目浩之、(2025年2月)井上雅彦、(2025年3月)吉本ばなな 利用者サービスの充実を目的とした「セタブンパス」2期を募集した。	通年	—	「ほんとわラジオ」放送 52回 「文学館ニュース」 各10,000部	「ほんとわラジオ」放送 52回 「文学館ニュース」 各10,000部	—

(7)財団共通

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
来館者サ ポート	来館者サポート	様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演、イベント、施設利用などにおいて来館者サポートを行った。					
		【生活工房】					
		①車椅子の貸出	通年	—	—	—	セミナールーム ほか
		②手話通訳の配置(随時)	通年	—	—	—	セミナールーム ほか
		③視覚・聴覚障害者等と共に映像を鑑賞するワークショップの実施・記録 音声の公開	通年	—	12	—	オンライン
		④授乳室の利用など	通年	—	—	—	授乳室
		【世田谷パブリックシアター】					
		①託児サービス 託児付き公演(375公演)	通年	2,200	97	—	パブリックシア ター/シアタート ラム
		②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など)	通年	定価の10%引 付添1名無料	78	—	
		③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置	通年	—	—	—	
		④視覚障害者のための舞台説明会(特定の主催公演)	5月26日、10月27 日、11月30日、 2025年2月23日	—	39 視覚障害者 うち18	—	パブリックシア ター
		⑤視覚障害者のための音声ガイド(特定の主催公演)	10月27日	—	10	—	パブリックシア ター
		⑥補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など)	通年	—	—	—	パブリックシア ター
		⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の主催公演)	通年	—	12	—	パブリックシア ター/シアタート ラム
		⑧聴覚障害者のための上演台本貸出	通年	—	5	—	
		⑨聴覚障害者のための筆談具設置	通年	—	—	—	
		⑩聴覚障害者のための字幕付上演(特定の公演)	10月28日、11月 3日、24日、27日	—	11	—	
		⑪多言語情報発信	通年	—	—	—	劇場ホームペー ジ
		⑫非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など	通年	—	—	—	パブリックシア ター/シアタート ラム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
来館者サ ポート	来館者サポート	【世田谷美術館】 ①講演会での手話通訳	通年	—	—	—	世田谷美術館
		②車椅子の貸出	通年	—	—	—	
		③ベビーカーの貸出	通年	—	—	—	
		④授乳室の利用など	通年	—	—	—	
	来館者サ ポート	【世田谷文学館】 ①車椅子の貸出	通年	—	—	—	世田谷文学館
		②ベビーカーの貸出	通年	—	—	—	
		③授乳室の利用	通年	—	—	—	
		④託児サービスの実施など	実施せず	—	—	—	
	せたがやアートカード	世田谷区在住の15歳以上を入会資格とする無料の会員制度。希望する会員には、月1回のメールマガジンで各事業部の最新情報を提供した。主催公演のチケット割引、先行発売、展覧会観覧料割引などの特典があるが、2024年度は、8月の「世田谷区民会館オープニングイベント[区受託]」を機に新規入会者が増加した。	通年	無料	会員数 20,874 メルマガ 配信者数 13,371 特典利用者 5,354	20,000	—
財団広報	財団広報	財団ホームページの運用 財団運営に関する情報及び各事業部の事業内容等を掲載した。	通年	—	—	—	—
		第45回せたがやふるさと区民まつりでPR活動を行った。	8月3日、4日	—	—	—	JRA馬事公苑ほか
		財団概要誌(財団パンフレット)改訂版を4月1日に発行した。	通年	—	1,000部	—	—
	せたがや文化・スポーツ情報 ガイドの発行	財団各部の事業を広く区民等に周知するため、タブロイド判の情報紙を発行した。区報25日号と合冊し、新聞(主要6紙)に折込で戸別配布、図書館等の区施設、区内鉄道駅広報スタンド等に配架した。(12回)	毎月25日発行	無料	毎月 177,800部	毎月 177,800部	—
文化芸術 の拠点施 設の管理 運営	世田谷文化生活情報セン ターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文化生活 情報センター
		生活工房セミナールーム、ワークショップルームの貸出を行った。	通年	9,790～ 3,160	28,006	—	世田谷文化生活 情報センター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
文化芸術 の拠点施 設の管理 運営	世田谷文化生活情報セン ターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷区内の劇団等による演劇・舞踊公演など、様々な催し物を実施した。 6団体(公演回数14回)	通年	6,000～無料	2,753	—	世田谷文化生活 情報センター
	世田谷美術館及び分館の施 設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮 本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行っ た。 世田谷美術館区民ギャラリー 126団体	通年	1日あたり1室 13,820ほか (利用は6日単 位)	74,929	—	世田谷美術館
		清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー 43団体	通年	1日あたり 2,880ほか (利用は6日単 位)	5,815	—	清川泰次記念 ギャラリー
		世田谷美術館講堂 23団体	通年	1日10,800ほか	1,290	—	世田谷美術館
	世田谷文学館の施設維持管 理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文学館
		講義室の貸出を行った。99団体	通年	無料	1,291	—	
物品販売 事業	生活工房事業関連商品の販 売	事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行った。	適宜	—	—	—	世田谷文化生活 情報センター
	パブリックシアター関連商品 の販売	世田谷パブリックシアターとシアタートラムで上演された公演のパンフレットや 映像化したDVD等の関連商品の販売を行った。	通年	2,700～700	7,990	—	世田谷文化生活 情報センター
	美術館ミュージアムショップ の運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営し、収蔵作品をモチーフとしたオ リジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における 関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行った。	通年	—	—	—	世田谷美術館及 び3分館
	文学館ミュージアムショップ の運営	ミュージアムショップを運営し、オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧 会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行った。	通年	—	—	—	世田谷文学館
飲食物提 供事業	パブリックシアターのロビー カフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営した。(営業回数 162回)	—	—	5,800	10,000	世田谷文化生活 情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」は、利用者等への飲食提供サー ビスおよび結婚式等パーティー(58組)を実施した。	通年	—	16,846	20,000	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内の地下喫茶「セタビカフェ」にて、来館者への飲食提供サービ スを行った。	通年	—	40,748	30,000	世田谷美術館

3. 事業評価

(1)生活工房

暮らしとデザインの交流拠点として、生活文化やデザインを題材とした、多彩な事業を展開した。来場者数は令和5年度を大きく上回り22万人を超えた。

「アウト・オブ・民藝」は、世田谷美術館での「民藝 MINGEI」展と同時期に開催したことで、相互に来館する人も多く、相乗効果があった。「山下陽光のおもしろ金儲け実験室」は、『バイトやめる学校』の著者としても知られる山下氏が「アウト・オブ・民藝」で設置した展示資材を引き続き使用し、会場で制作しながら来場者の生活相談を受けるなど、空間構成でもタイトル通り実験的な展覧会となった。「PART OF THE ANIMAL—動物と人間のあいだ」展は、アーティストが制作した作品、研究者たちが調査地で採集した資料や映像など、生活工房ならではの多彩な展示を行った。いずれの展覧会も、会期中に関連イベントとしてトークイベントやワークショップを実施し、作家・出品者との交流や、創作体験の場を多く提供することで、来場者の作品への理解や共感が深まった。

様々な人が集い、対話し、共に学ぶ場としてセミナーやワークショップを実施し、900名近い参加者があった。「日常を見限らない—バランスのワークショップ」では、参加者が、日常生活の中で見落とされがちな出来事を研究者やアーティストと共に五感を使って味わい直す機会となった。「対話の効能—〈わたし〉と〈あなた〉のあいだ」や「老人性アメイジング！—寿ぎと分解」では、講演だけでなく映画鑑賞やピアノ演奏などを合わせた独自のプログラムで、多くの参加者から好評を得た。いずれの事業も、参加者同士が積極的に交流し、様々な価値観が共有される場となり、参加者の満足度も高かった。

市民活動支援事業として令和4年から実施しているトークシリーズ「ちかくのとく」は、これまでに5エリア・4テーマを取り上げ、地域で活動する人たちが、このイベントに参加することで他地域の実情を知る機会となっている。

「世田谷クロニクル」を鑑賞する「せたがやアカカブの会」「エトセトラの時間」など、オンラインも活用したインクルーシブな事業も継続し、リピーター、新規の参加者ともに増えている。

広報や情報発信も積極的に行い、ホームページのページビュー数は事業数が減ったことにより令和5年度よりやや下回ったものの、SNS 広告からの流入数はターゲット設定の見直しが功を奏し、約60%増加した。「アニュアルレポート」には世田谷文化生活情報センター周辺の「三軒茶屋・三角地帯」をリサーチした読み物を掲載し、地域の魅力発信にも貢献した。

過年度事業も含め公開している YouTube のチャンネル登録者数は令和5年度より700名以上増え（総登録者数3,120名）、令和6年度の視聴回数は約6万回となった。

(2)世田谷パブリックシアター

観客動員については、主劇場・シアタートラム両劇場の年間入場者総数は113,278人となった。令和5年度(143,908人)と比較して3万人近く減少したが、その主な要因は、主催公演の主劇場での実施回数が減少(95回→51回)し、シアタートラムでの実施回数が増加(40回→92回)したことにある。これは、若手演劇人に主催公演を任せることで、劇場を新しいアーティストに開いていこうという白井芸術監督の方針を積極的に反映させた結果であり、芸術監督制をとる劇場の特質が十分に発揮されたものとしてポジティブにとらえるべきものであると考えている。

『ロボット』が第32回読売演劇大賞において、優秀スタッフ賞(山本貴愛)を受賞したほか、主催公演事業は各種メディアに取り上げられ、好意的な劇評も多数掲載された。日本を代表する公共劇場として、引き続き高い評価を得ている。さらに、今年度は文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」に

採択され、最大5年間をかけて次代を担う若手クリエイター、アーティスト、スタッフ等の育成事業を展開することとなった。世田谷パブリックシアターが築き上げてきた国内外のネットワークや人材育成の実績が評価されたものと受け止めている。

普及啓発・人材育成事業では、「コミュニティプログラム」「学校とその他区内施設との連携プログラム」「研究育成プログラム」の3つの柱により、通年でワークショップ・レクチャー・研究会を実施しているが、求められる役割や機能を常に意識しつつ、アップデートを行っている。令和6年度は区受託事業として「新小学1年生のためのスタートカリキュラム」を実施したことが特筆される。新しい環境で人間関係を作ることが難しい子どもが増えているのではないかとの問題意識から、世田谷区教育委員会と連携して4月～6月に実施したが、現場の先生方からクラスづくりにも資するところが大きいと高い評価を得た。

また、劇場開場以来継続している「地域の物語」は、令和6年度は従来の「発表会」ではなく拡大ワークショップとして実施し、劇場に集った全員が参加者となる新しい形式を提案した。さらに、障害当事者と共に作り上げた「学校のためのワークショップ」の企画が文化庁ユニバーサル公演事業、東京都インクルーシブ体験プログラムとして採択を受け、全国の学校で上演を行う取組みを継続したことも大きな成果と言える。こうした取組みを通じて劇場が蓄積してきた知見を様々な実施主体と共有することは、公共劇場における演劇ワークショップ事業の先駆者である世田谷パブリックシアターの重要なミッションであると考えている。

諸物価や輸送費等の高騰、急激な為替の変動などに加え、働き方改革への対応やハラスメント対策の要請など、劇場を取り巻く環境は厳しさを増しているが、令和4年度に就任した白井晃芸術監督のリーダーシップのもと、国内外の公共劇場や民間の実演団体などと積極的に連携して、作品創造及び人材交流の活性化、普及啓発・人材育成事業の充実、多様な料金設定、バリアフリー対応の充実による鑑賞機会の拡充及び多言語による情報発信、新たな観客の育成等、新しい時代に対応した劇場のあり方に向けて着実に歩を進めることができた一年となった。

(3)音楽事業部(せたおん)

積み重ねてきた成果を活かし、新しい世田谷区民会館のオープニングイベントに打ち込んだ。

「柿落とし公演」は、日本の伝統音楽を紹介する「シリーズ和・華・調」の豪華版。『一番太鼓の儀』に始まり、中村雀右衛門・大谷廣松による歌舞伎舞踊『雛鶴三番叟』、今藤政太郎の長唄『螢』と続くプログラムで、会場を埋めた区民と共に、再出発を寿いだ。

次いで、区内で活動する様々なアマチュア団体による入場無料のコンサート「せたがや Music フェス」を実施。「せたがや音楽研究所」を発展させた「宮川彬良まつり」は、区民価格を大幅に下げ、熱い支持を受けた。『Setagaya Super Band NIAGARA SUNDAY』は、世田谷アーティストを支援する「Discovery Setagaya Sounds」を受けてのもの。井上鑑プロデュースで、トップ・ミュージシャンが集結。通常少ない男性客が溢れ、関心の広がりを実感した。

締めくくり、愛称“せたがやイーグレットホール”発表の日には、「せたがやジュニアオーケストラ」が登場。6年ぶり本拠地での定期演奏会は、連携する東京フィルハーモニー交響楽団との合同演奏を含む「特別演奏会」となり、大成功だった。前日には、東京フィルハーモニー交響楽団が「開館記念特別演奏会」で見事な演奏を聴かせた。

オープニングイベント以外でも、世田谷区民会館を活用。「オータムコンサート」では、せたがやジュニアオーケストラが演奏だけでなく、楽器体験ワークショップも行い、「室内楽シリーズ」では、世界で活躍する金川真弓と久末航のデュオが舞台に立った。さらに、2階ラウンジを使って、宮川彬良、井上鑑に亀田誠治を加えた、世田谷区民会館音楽事業アドバイザー3人による「ラウンジコンサート」、1階エントランスホール

で、米国発祥の音楽ゴスペルを紹介した「ホストタウンコンサート」を行い、世田谷区民会館の定着を図った。

他の場所での事業にも尽力した。砧地域の成城ホールでは、“鉄道と音楽”をテーマに池辺普一郎音楽監督の企画とトークがさえた「異分野とのコラボレーション」、上野通明と北村朋幹、気鋭の二人による「室内楽シリーズ」と完売の公演が続いた。北沢地域の北沢タウンホールでは、人気の「ミュージック・ラウンジ」を3企画実施。坂田明、上田正樹、ギラ・ジルカ&矢幅歩、三様の楽しみ方ができるライブを行った。両ホールでは、本格的な内容を無料で楽しめる「まちなかコンサート」も開催。入場方法を工夫して、ともに1日2回公演を満席にした。

烏山地域、玉川地域では、小規模で親密な「まちかどコンサート」と小学生対象の講座を実施。さらに、「Setagaya Arts Place」を通じて、区内各地14か所に音楽家や大道芸人を派遣した。また、「学校への訪問企画」をコロナ禍以降初めて復活、小・中学校5校で、各校の要望に合わせたコンサートやワークショップを実施した。

職員の負担の大きい1年だったが、ひとつ山を越えることができた。この経験を抱き、次なる山、そして広がりへ向け、せたおんは歩み続ける。

(4)国際事業部

区の「世田谷区における外国人区民の意識・実態調査」での「せたがや国際交流センター(愛称・クロッシングせたがや)」の認知度が約15%前後という現状を少しでも改善させることを意識して、年間を通じて活動した。まず、開設当時から使われていたパンフレットを一新させたほか、せたがや国際交流センターの入口へのバナースタンドの設置、職員がイベント等で着用するチームウェアとしてTシャツ・ジャンパーの製作、区民まつりの国際交流コーナーへのブース出展とPR活動、各種イベントで配布するアメニティグッズの活用等を行った。

また、多様化する外国人の相談の対応力向上として、ただ単に他の相談機関を紹介することにとどまらず、主訴を詳細に聞き取り、スタッフ自らが相談機関と連携して課題解決に繋げるよう、伴走的な支援を行うことを徹底してきた。また、区内で活動する国際協力団体や大学と連携を進めて、有益な情報の収集に努めた。

「多文化理解講座」では、新たに外国人のみを対象とした講座「英語で野点」を実施し、大変好評をいただいた。令和7年度は外国人を対象に日本文化に親しめる事業を充実させる。外国人のニーズの把握に努め、幅広い世代の関心を集める題材を課題に検討する。

「外国人のための日本語教室(初級)」と、「せたがや日本語サポーター講座・初級」は、広報開始当初から問合せも多く、センターに来館する外国人が増加するなど、事業への関心の高さが窺えた。一方で、講座途中でリタイアする受講者も多くいたため、講座の回数や開催時期などを検討し、令和7年度の実施に反映させる予定である。また、これら二つの講座を修了した方々は、今後も国際事業部事業への参加と協働をお願いする貴重な人脈になると捉えており、今後もイベント等の情報を積極的に届けていきたい。

令和6年度は、国際交流センターを利用した外国人の人数が「日本語教室」などの効果も合わせて、前年度の2倍を超える来館者数となった。ホームページの一部改修など、電子媒体による発信も強化して、外国人、区民に向けた情報をわかりやすく届けることを優先的に心掛けるとともに、マスメディアを活用した情報提供など新たな広報活動にも注力していく。

(5)世田谷美術館

「民藝 MINGEI——美は暮らしのなかにある」は、民藝のある暮らしを、柳の時代と現在とを、モデルルームのインスタレーションで提示するほか、会場の最後に、鑑賞だけではなく、実際に使ってもらってその良さを体験できるよう、現在の産地で作られた民藝品を販売するコーナーを設け、多くの来場者に民藝の品々を手にとってもらい、手仕事の魅力を伝えることができた。生活工房ギャラリーの「アウト・オブ・民藝『民』から芽づる編 MINGEI の B 面！」との相乗効果もあった。「須田国太郎の芸術——三つのまなざし」、「北川民次展——メキシコから日本へ」は、いずれも両作家の多面的な側面を紹介することができ、作家理解を深める展覧会となった。「東急 暮らしと街の文化」は、これまで当館が開催した＜企業と美術＞、＜美術家たちの沿線物語＞シリーズの蓄積が活かされた内容で、世田谷にゆかりの深い企業の多角的な事業を、文化という視点を軸に紹介することができた。来場者も、美術愛好家だけでなく、鉄道や街づくりなどに関心がある様々な客層を取り込むことができた。世田谷美術館コレクション選「緑の惑星 セタビの森の植物たち」は、約半数が初出品で構成され、これまで展示の機会がなかった収蔵作品を活用すると同時に、普及事業がこれまで行ってきた開館以来の地域の学校との連携が展覧会に活かされた。小学校11校と保育園1園の子どもたち 1,245人が制作した植物の作品群と来場者による参加型作品とが、窓から見える砧公園の緑と相いまって、建築の魅力も存分に発揮され、当館ならではのエネルギーに満ちた展示空間が出現。

ミュージアム コレクション(収蔵品)も企画性の高い内容で3本開催した。これまで美術館で取り上げられる機会のなかった大貫卓也のアートディレクターの仕事の花森安治とともに紹介し世間の注目を集めた。また、難波田龍起、村井正誠、堂本尚郎の3名の大御所作家のそれぞれ初期から晩年にわたる画風の変遷を紹介し、改めて当館のコレクションの充実度を示すこととなった。そして、1980年代のイギリス美術を紹介する展覧会では、過去のアーカイブ資料も有効活用することができた。

各分館においても、年間2回の企画展を開催し、向井潤吉アトリエ館や清川泰次記念ギャラリーでは季節感のあるインスタグラムを発信するほか、宮本三郎記念美術館では、ハロウィンなど地元のイベントに積極的に協力し PR にも繋げるなど、地域に根付いた運営を行うことができた。

普及事業では、成人講座「美術大学」は、従来の定員60人に戻り、本来のプログラムを行えるようになった。ミュージアムセッションでは、図工教諭と出張授業を行うインターンの大学生の交流を深める機会となり、授業にもその成果を反映することができた。100円ワークショップは、展覧会毎に変わる内容を楽しみにされている常連の参加者も多く、毎回100人ほどの参加者の対応を、美術鑑賞教室や、川場村との交流事業も含め、多くのボランティアに協力いただいた。友の会会員も会員数を増やし、さくら祭などに協力いただいた。また、3回目となる若手を対象としたレジデンスプログラムは、短歌を詠むダンサー/振付家の涌田悠が滞在し、彼女自身が滞在中に身体表現の実験を重ねながら、多くの新作短歌が生まれ note(Web 記事)にて逐次公開。オープンデーや滞在報告会では、様々な場所で彼女が滞在中に行った実験を参加者が体験できる場となった。

広報事業においては、各種 SNS などの特性を活かした魅力的な情報発信を行い、フォロワー数や登録者数を増やした。また日頃の接客などを通じ、問合せの多い事項について、ホームページ上で新規にFAQのページを設置し、アクセシビリティの向上に努めた。

令和6年度も、331点の美術作品及び230点の資料が寄贈され、これまでの収蔵品を補完し、今後の展示などに活用できる重要で貴重な作品・資料を多く収集することができた。今後も美術館の社会的役割である保存、研究、公開に努め、多文化共生、社会動向を意識し、事業を展開したい。

(6)世田谷文学館

令和6年度の世田谷文学館は、4月から世界中の来館者が集って活気に満ちあふれた。「伊藤潤二展 誘惑」では、アジア・ヨーロッパの各国、とりわけ南米からはるばるお越しくださった訪日外国人で溢れた。日本在住者でも慣れない電車の乗り換えをものともせず、「SETABUN」を目指してやってきてくれた皆様に感謝を申し上げたい。当館が、伊藤潤二という唯一無二の作家と世界中のファンを結びつける場所となったことに、「ホラー」のジャンルにチャレンジした自負とともに、格別の喜びを感じている。

11月からスタートした「漫画家・森薫と入江亜季展」は、デジタル全盛時代にあえて、手描きで作品を書き続けている二人の作家に迫った。この展覧会は「展覧会を観た人に、漫画を描いてもらいたい」「自分の表現、創作を始めてほしい」という作家たちの思いから始まっている。原稿一本一本の線に宿る作家たちの創作への熱量が、観る人々を圧倒し、やがて観た本人にペンを持たせていく過程が展示室内で繰り広げられ、作家たちへのメッセージノートは、「背中を押してもらった」「描き始めたい」の言葉で埋め尽くされた。

世田谷文学館で作家との幸福な出会いが、今年度も実現できたことを喜びたい。

当館の誇るべき教育普及事業「どこでも文学館」も、例年以上の成果を上げ、出張展示は全国に広がった。助成金獲得により、コレクション展でも大きな反響のあった「寺山修司」をテーマにした、本人の音声やゆかりの方々のインタビューも鑑賞できる新しいキットを制作することができ、次年度以降の出張展示で展開できることになった。今後も「どこでもだれでもいつでも」の活動方針をさらに強化していきたい。

資料調査も、前年度に引き続いて『収蔵資料〈調査と探究〉02 石川淳／椎名麟三〔下巻〕』を刊行した。今後も世田谷文学館を代表する貴重なコレクションを、計画的に発表できる体制を整えていきたい。

今年度は、展覧会、教育普及、資料関連いずれも大きな成果があり、歴代最多の利用者数も報告できることになった。次年度30周年を迎える世田谷文学館であるが、ここまでの、必ずしも平たんな道のりではなかった日々にも想いをはせながら、これまで支えてきてくださった来館者の皆様、数々の難題を乗り越えてきた職員一同とともに、周年の軌跡をかみしめたい。

4. 重要な契約の概要

契約件名	契約年月日	相手方	契約の概要
世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定	令和6年4月1日	世田谷区長	1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区立世田谷美術館条例第18条、世田谷区立世田谷文学館条例第18条及び世田谷区立世田谷文化生活情報センター条例第20条の規定により、次に掲げる業務を行う。 (1)世田谷区立世田谷美術館 ① 美術館条例第2条第2号から第8号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② 美術館の利用の承認等に関する業務 ③ 美術館の施設及び施設の維持管理に関する業務 ④ その他、世田谷区が必要と認める業務 (2)世田谷区立世田谷文学館 ① 文学館条例第2条第2号から第7号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② 文学館の利用の承認等に関する業務 ③ 文学館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④ その他、世田谷区が必要と認める業務 (3)世田谷区立世田谷文化生活情報センター ① センター条例第2条各号に規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ その他、世田谷区が必要と認める業務 2 指定期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間とする。
世田谷区文化施設の管理に関する年度協定	令和6年4月1日	世田谷区長	1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定及び年度協定の仕様書に定める業務を行う。 2 協定期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間とする。

5. 登記事項

評議員変更登記

令和7年3月31日登記

令和7年3月13日付 評議員変更（1名就任）

理事変更登記

令和6年4月2日登記

令和6年3月31日付 理事変更（1名辞任）

令和6年4月 1日付 理事変更（1名就任）

監事変更登記

令和6年4月2日登記

令和6年3月31日付 監事変更（1名辞任）

令和6年4月 1日付 監事変更（1名就任）

6. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回	開催日	議案番号	件 名
第1回 定時 (オンライン併用)	令和6年 5月23日	議案第1号	令和5年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第2号	令和5年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
		議案第3号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第4号	役員等賠償責任保険(D&O保険)の締結について
		議案第5号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団第1回評議員会(定時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団理事長、常務理事の職務執行状況について
第2回 定時 (オンライン併用)	令和7年 2月27日	議案第6号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第7号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第8号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員給与規程の改正について(管理職特別勤務手当の改正)
		議案第9号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の改正について(不妊治療のための休暇制度の新設等)
		議案第10号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の改正について(改正育児・介護休業法への対応)
		議案第11号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の改正について(夏季休暇制度の改正)
		議案第12号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の改正について(懲戒処分の改正)
		議案第13号	公益財団法人せたがや文化財団専門職員就業規程の改正について(内部登用制度の改正)
		議案第14号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団第2回評議員会(臨時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団給与規程等の改正について
			世田谷パブリックシアター2023年9月の油圧舞台装置作動油噴出事故最終報告
			公益財団法人せたがや文化財団理事長、常務理事の職務執行状況について

(2) 評議員会

回	開催日	議案番号	件 名
第 1 回 定時 (オンライン併用)	令和 6 年 6 月 13 日	議案第 1 号	令和5年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第 2 号	令和5年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
		議案第 3 号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		報告事項	役員等賠償責任保険(D&O保険)の締結について
第 2 回 臨時 (オンライン併用)	令和 7 年 3 月 13 日	議案第 4 号	令和 6 年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第 5 号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第 6 号	公益財団法人せたがや文化財団評議員の選任について
		議案第 7 号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の報酬額について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団諸規程等の改正について
			世田谷パブリックシアター2023年9月の油圧舞台装置作動油噴出事故最終報告

7. 役員名簿

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

【理事:11 名】

【任期:令和 5 年 6 月 15 日から令和 7 年度定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏 名	備 考
理 事 長	青 柳 正 規	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
常務理事	高 萩 宏	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター館長
常務理事	橋 本 善 八	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館館長
常務理事	亀 山 郁 夫	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館館長
常務理事	志 賀 毅 一	公益財団法人せたがや文化財団 事務局長
理 事	熊 谷 吏 夏	弁護士
理 事	桑 島 俊 彦	東京都商店街振興組合連合会理事・最高顧問
理 事	鴻 巣 友 季 子	文芸評論家、大学講師
理 事	武 濤 京 子	昭和音楽大学名誉教授・客員教授
理 事	名 児 耶 明	筆の里工房副館長
理 事	板 東 久 美 子	日本赤十字社常任理事

【監事:2 名】

【任期:令和 5 年 6 月 15 日から令和 9 年度定時評議員会の終結の時まで】

監 事	大 澤 正 文	世田谷区会計管理者
監 事	山 本 嶋 子	公認会計士

8. 評議員名簿

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

【評議員:11 名】

【任期:令和 5 年 6 月 15 日から令和 9 年度定時評議員会の終結の時まで】

氏 名	備 考
秋 山 光 文	お茶の水女子大学名誉教授 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長
朝 生 公 章	区内企業代表
上 田 啓 子	世田谷区町会総連合会副会長
大 笹 吉 雄	演劇評論家
ゴ ロ ウ ィ ナ ク セ ー ニ ヤ	東洋大学社会学部准教授 イクリスせたがや共同代表
齋 藤 啓 子	武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科教授
佐々木 健二	弁護士
島 田 成 年	東京商工会議所世田谷支部副会長
田 村 哲 夫	学校法人渋谷教育学園理事長 学校法人青葉学園理事長
沼 野 雄 司	桐朋学園大学教授
萩 原 朔 美	多摩美術大学名誉教授 前橋文学館館長

9. 財団幹部名簿

(令和7年3月31日現在)

職 務 名	氏 名	備 考
理事長	青 柳 正 規	
事務局長	志 賀 毅 一	常務理事
統括部長	山 田 実	
世田谷文化生活情報センター館長	高 萩 宏	常務理事
副館長	木 本 義 彦	
総務部長	馬 場 利 至	
生活工房室長	福 岡 綾 子	
劇場部長	滝 口 健	
技術部長	福 田 純 平	
音楽事業部長	蓑 輪 勇 二	
国際事業部長	馬 場 利 至	総務部長兼務
世田谷美術館館長	橋 本 善 八	常務理事
副館長	安 間 信 雄	
総務部長	安 間 信 雄	副館長事務取扱
学芸部長	村 上 由 美	
世田谷文学館館長	亀 山 郁 夫	常務理事
副館長	片 桐 誠	
総務部長	片 桐 誠	副館長事務取扱
学芸部長	中 垣 理 子	

芸術監督	白 井 晃	
音楽監督	池 辺 晋 一 郎	

財 務 諸 表

1. 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度		前年度		増 減	
I 資産の部						
1. 流動資産						
①現金預貯金	607,579,599		549,647,701		57,931,898	
②未収入金	199,889,754		240,553,896		△ 40,664,142	
③商品	35,350,014		38,230,183		△ 2,880,169	
④貯蔵品	393,010		360,131		32,879	
⑤繰延事業費	16,500,000		16,500,000		0	
⑥前払金	7,691,688		10,109,804		△ 2,418,116	
⑦立替金	108,680		0		108,680	
流 動 資 産 合 計	867,512,745		855,401,715		12,111,030	
2. 固定資産						
(1)基本財産						
①国公債	697,873,712		712,810,562		△ 14,936,850	
②預貯金	102,126,288		87,189,438		14,936,850	
基 本 財 産 合 計	800,000,000		800,000,000		0	
(2)特定資産						
①退職給付引当資産	293,634,805		270,653,954		22,980,851	
②使途指定寄付積立資産	10,253,731		8,790,978		1,462,753	
特 定 資 産 合 計	303,888,536		279,444,932		24,443,604	
(3)その他の固定資産						
①建物附属設備	88,227,885		82,869,411		5,358,474	
減価償却累計額	△ 54,060,319	34,167,566	△ 47,755,699	35,113,712	△ 6,304,620	△ 946,146
②器具備品	171,831,242		154,205,678		17,625,564	
減価償却累計額	△ 126,911,526	44,919,716	△ 115,942,741	38,262,937	△ 10,968,785	6,656,779
③リース資産	45,410,200		99,876,302		△ 54,466,102	
減価償却累計額	△ 14,487,117	30,923,083	△ 72,271,419	27,604,883	57,784,302	3,318,200
④ソフトウェア	17,835,731		23,963,302		△ 6,127,571	
⑤長期前払費用	881,830		0		881,830	
⑥保証金等	60,000		60,000		0	
⑦大規模事業等実施積立金	31,500,000		31,500,000		0	
⑧経営安定化積立金	215,000,000		215,000,000		0	
⑨事故対策積立金	90,000,000		90,000,000		0	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	465,287,926		461,504,834		3,783,092	
固 定 資 産 合 計	1,569,176,462		1,540,949,766		28,226,696	
資 産 合 計	2,436,689,207		2,396,351,481		40,337,726	
II 負債の部						
1. 流動負債						
①未払金	259,343,433		256,684,331		2,659,102	
②前受金	18,553,690		26,228,860		△ 7,675,170	
③預り金	64,328,762		105,867,047		△ 41,538,285	
④賞与引当金	63,848,102		56,926,662		6,921,440	
⑤リース債務	7,701,381		16,176,288		△ 8,474,907	
流 動 負 債 合 計	413,775,368		461,883,188		△ 48,107,820	
2. 固定負債						
①退職給付引当金	293,634,805		270,653,954		22,980,851	
②リース債務	24,008,590		12,733,142		11,275,448	
③長期前受金	0		1,433,260		△ 1,433,260	
固 定 負 債 合 計	317,643,395		284,820,356		32,823,039	
負 債 合 計	731,418,763		746,703,544		△ 15,284,781	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
①受取寄附金	10,253,731		8,790,978		1,462,753	
②世田谷区出捐金	800,000,000		800,000,000		0	
指定正味財産合計	810,253,731		808,790,978		1,462,753	
(うち基本財産への充当額)	(800,000,000)		(800,000,000)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(10,253,731)		(8,790,978)		(1,462,753)	
2. 一般正味財産	895,016,713		840,856,959		54,159,754	
(うち基本財産への充当額)	(0)		(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)		(0)		(0)	
正 味 財 産 合 計	1,705,270,444		1,649,647,937		55,622,507	
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	2,436,689,207		2,396,351,481		40,337,726	

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	2,599,958	2,547,228	52,730
	基本財産運用益	2,599,958	2,547,228	52,730
	特定資産運用益	1,261,308	1,082,140	179,168
	特定資産運用益	1,261,308	1,082,140	179,168
	事業収益	1,568,869,265	1,421,093,488	147,775,777
	事業運営収益	783,817,377	716,374,978	67,442,399
	区事業等受託収益	785,051,888	704,718,510	80,333,378
	受取区補助金	1,317,868,897	1,203,383,836	114,485,061
	受取区補助金	1,317,868,897	1,203,383,836	114,485,061
	受取助成金等	102,765,893	119,106,204	△ 16,340,311
	受取助成金等	102,765,893	119,106,204	△ 16,340,311
	受取負担金	13,390,532	18,120,921	△ 4,730,389
	受取負担金	13,390,532	18,120,921	△ 4,730,389
	雑収益	826,317	194,903	631,414
	雑収益	646,995	71,446	575,549
	受取利息	179,322	123,457	55,865
	経 常 収 益 計	3,007,582,170	2,765,528,720	242,053,450
	(2) 経常費用			
	事業費	2,842,670,276	2,761,948,874	80,721,402
	給料手当等	753,742,842	792,243,974	△ 38,501,132
	賞与引当金繰入	59,664,135	56,899,727	2,764,408
	退職給付費用	29,749,503	23,010,930	6,738,573
	交際費	628,556	437,728	190,828
	式典費	170,513	188,414	△ 17,901
	会議費	344,404	108,681	235,723
	旅費交通費	14,494,103	6,267,116	8,226,987
	通信運搬費	9,835,943	9,798,647	37,296
	消耗経費	33,232,121	37,625,056	△ 4,392,935
	印刷製本費	46,192,420	42,837,577	3,354,843
	保険料	4,103,547	3,994,860	108,687
	修繕費	27,443,868	22,221,796	5,222,072
	光熱水費	11,829,089	10,729,361	1,099,728
	諸謝金	47,503,257	50,436,054	△ 2,932,797
	支払負担金	55,092,198	15,686,193	39,406,005
	委託費	908,653,432	867,828,737	40,824,695
	使用料及び賃借料	48,003,097	47,524,174	478,923
	支払手数料	30,447,955	24,506,479	5,941,476
	広報宣伝費	79,447,735	78,749,052	698,683

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
	臨時雇賃金	79,430,793	82,374,531	△ 2,943,738
	租税公課	31,576,630	24,923,020	6,653,610
	上演出演料	308,734,573	289,467,037	19,267,536
	舞台費	142,735,224	152,333,907	△ 9,598,683
	制作企画費	60,762,811	66,564,601	△ 5,801,790
	商品仕入	8,584,343	6,799,238	1,785,105
	減価償却費	47,696,266	46,928,666	767,600
	支払利息（リース債務）	994,811	1,419,128	△ 424,317
	流動資産除却損	1,522,602	0	1,522,602
	雑費	53,505	44,190	9,315
	管理費	103,808,325	6,776,141	97,032,184
	役員報酬	5,022,944	5,203,344	△ 180,400
	給料手当等	57,453,340	505,374	56,947,966
	賞与引当金繰入	4,183,967	26,935	4,157,032
	退職給付費用	2,914,558	12,468	2,902,090
	交際費	9,551	0	9,551
	旅費交通費	346,551	0	346,551
	通信運搬費	178,497	59,442	119,055
	消耗経費	500,104	4,223	495,881
	印刷製本費	381,172	0	381,172
	保険料	411,550	14,750	396,800
	支払負担金	139,200	0	139,200
	委託費	18,638,132	311,850	18,326,282
	使用料及び賃借料	4,472,460	0	4,472,460
	支払手数料	357,621	0	357,621
	臨時雇賃金	6,778,405	0	6,778,405
	租税公課	1,199,900	0	1,199,900
	減価償却費	820,373	637,755	182,618
	経 常 費 用 計	2,946,478,601	2,768,725,015	177,753,586
	当期経常増減額	61,103,569	△ 3,196,295	64,299,864
2	経常外増減の部			
	(1) 経常外収益			
	雑収益	25,890	0	25,890
	雑収益	25,890	0	25,890
	雑収益	25,890	0	25,890
	経 常 外 収 益 計	25,890	0	25,890
	(2) 経常外費用			
	流動資産除却損	0	557,504	△ 557,504
	流動資産除却損	0	557,504	△ 557,504
	商品除却損	0	557,504	△ 557,504
	固定資産除却損	5	5	0
	固定資産除却損	5	5	0
	固定資産除却損	5	5	0

(単位：円)

科 目			当年度	前年度	増 減
	雑損		0	25,890	△ 25,890
		雑損	0	25,890	△ 25,890
		雑損	0	25,890	△ 25,890
	経 常 外 費 用 計		5	583,399	△ 583,394
	当期経常外増減額		25,885	△ 583,399	609,284
	他会計振替前当期一般正味財産増減額		61,129,454	△ 3,779,694	64,909,148
	法人税、都民税及び事業税		6,969,700	1,728,100	5,241,600
	当期一般正味財産増減額		54,159,754	△ 5,507,794	59,667,548
	一般正味財産期首残高		840,856,959	846,364,753	△ 5,507,794
	一般正味財産期末残高		895,016,713	840,856,959	54,159,754
Ⅱ 指定正味財産の部					
	受取寄附金		1,462,753	618,812	843,941
	基本財産運用益		2,599,958	2,547,228	52,730
	一般正味財産への振替額		2,599,958	2,547,228	52,730
	当期指定正味財産増減額		1,462,753	618,812	843,941
	指定正味財産期首残高		808,790,978	808,172,166	618,812
	指定正味財産期末残高		810,253,731	808,790,978	1,462,753
Ⅲ 正味財産期末残高			1,705,270,444	1,649,647,937	55,622,507

(1)損益計算書(正味財産増減計算書) 内訳表

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
I 一般正味財産の部				
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	1,261,308	0	1,261,308
	特定資産運用益	1,261,308	0	1,261,308
	特定資産運用益	1,261,308	0	1,261,308
	事業収益	1,476,913,806	387,397	1,477,301,203
	事業運営収益	691,961,815	287,500	692,249,315
	事業運営収益	691,961,815	287,500	692,249,315
	区事業等受託収益	784,951,991	99,897	785,051,888
	指定管理受託収益	677,331,000	0	677,331,000
	区事業受託収益	107,620,991	99,897	107,720,888
	受取区補助金	1,169,689,487	51,081,000	1,220,770,487
	受取区補助金	1,169,689,487	51,081,000	1,220,770,487
	受取区補助金	1,169,689,487	51,081,000	1,220,770,487
	受取助成金等	101,434,893	1,331,000	102,765,893
	受取助成金等	101,434,893	1,331,000	102,765,893
	受取助成金	101,434,893	1,331,000	102,765,893
	受取負担金	6,564,148	0	6,564,148
	受取負担金	6,564,148	0	6,564,148
	受取負担金	6,564,148	0	6,564,148
	雑収益	164,769	0	164,769
	雑収益	164,769	0	164,769
	雑収益	164,769	0	164,769
	受取利息	0	0	0
	受取利息	0	0	0
経 常 収 益 計		2,756,028,411	52,799,397	2,808,827,808

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,599,958		2,599,958
0	0	0	2,599,958		2,599,958
0	0	0	2,599,958		2,599,958
0	0	0	0		1,261,308
0	0	0	0		1,261,308
0	0	0	0		1,261,308
88,418,592	3,149,470	91,568,062	0		1,568,869,265
88,418,592	3,149,470	91,568,062	0		783,817,377
88,418,592	3,149,470	91,568,062	0		783,817,377
0	0	0	0		785,051,888
0	0	0	0		677,331,000
0	0	0	0		107,720,888
0	0	0	97,098,410		1,317,868,897
0	0	0	97,098,410		1,317,868,897
0	0	0	97,098,410		1,317,868,897
0	0	0	0		102,765,893
0	0	0	0		102,765,893
0	0	0	0		102,765,893
186,353	6,640,031	6,826,384	0		13,390,532
186,353	6,640,031	6,826,384	0		13,390,532
186,353	6,640,031	6,826,384	0		13,390,532
476,726	0	476,726	184,822		826,317
476,726	0	476,726	5,500		646,995
476,726	0	476,726	5,500		646,995
0	0	0	179,322		179,322
0	0	0	179,322		179,322
89,081,671	9,789,501	98,871,172	99,883,190	0	3,007,582,170

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
	(2) 経常費用			
	事業費	2,737,168,141	52,673,452	2,789,841,593
	給料手当等	723,975,364	28,746,620	752,721,984
	賞与引当金繰入	57,111,300	2,453,810	59,565,110
	退職給付費用	29,601,619	99,602	29,701,221
	交際費	620,121	8,435	628,556
	式典費	170,513	0	170,513
	会議費	344,404	0	344,404
	旅費交通費	14,468,903	25,200	14,494,103
	通信運搬費	8,998,076	41,782	9,039,858
	消耗経費	28,582,167	2,177,752	30,759,919
	印刷製本費	45,104,394	279,526	45,383,920
	保険料	4,067,967	35,580	4,103,547
	修繕費	27,443,868	0	27,443,868
	光熱水費	4,850,754	0	4,850,754
	諸謝金	46,978,182	525,075	47,503,257
	支払負担金	55,082,198	10,000	55,092,198
	委託費	874,197,905	14,939,544	889,137,449
	使用料及び賃借料	45,460,005	1,653,136	47,113,141
	支払手数料	21,636,273	3,391	21,639,664
	広報宣伝費	79,285,820	37,210	79,323,030
	臨時雇賃金	78,084,804	1,345,989	79,430,793
	租税公課	29,639,831	8,189	29,648,020
	上演出演料	308,734,573	0	308,734,573
	舞台費	142,735,224	0	142,735,224
	制作企画費	60,533,591	229,220	60,762,811
	商品仕入	0	0	0
	減価償却費	47,129,394	53,391	47,182,785
	支払利息（リース債務）	994,811	0	994,811
	流動資産除却損	1,289,086	0	1,289,086
	雑費	46,994	0	46,994

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
45,120,092	7,708,591	52,828,683			2,842,670,276
842,231	178,627	1,020,858			753,742,842
78,454	20,571	99,025			59,664,135
39,117	9,165	48,282			29,749,503
0	0	0			628,556
0	0	0			170,513
0	0	0			344,404
0	0	0			14,494,103
685,865	110,220	796,085			9,835,943
2,472,202	0	2,472,202			33,232,121
808,500	0	808,500			46,192,420
0	0	0			4,103,547
0	0	0			27,443,868
269,042	6,709,293	6,978,335			11,829,089
0	0	0			47,503,257
0	0	0			55,092,198
19,515,983	0	19,515,983			908,653,432
832,986	56,970	889,956			48,003,097
8,808,291	0	8,808,291			30,447,955
124,705	0	124,705			79,447,735
0	0	0			79,430,793
1,736,823	191,787	1,928,610			31,576,630
0	0	0			308,734,573
0	0	0			142,735,224
0	0	0			60,762,811
8,584,343	0	8,584,343			8,584,343
81,523	431,958	513,481			47,696,266
0	0	0			994,811
233,516	0	233,516			1,522,602
6,511	0	6,511			53,505

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
	管理費			
	役員報酬			
	給料手当等			
	賞与引当金繰入			
	退職給付費用			
	交際費			
	旅費交通費			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	印刷製本費			
	保険料			
	支払負担金			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	支払手数料			
	臨時雇賃金			
	租税公課			
	減価償却費			
	経 常 費 用 計	2,737,168,141	52,673,452	2,789,841,593
	当期経常増減額	18,860,270	125,945	18,986,215
2	経常外増減の部			
	(1) 経常外収益			
	雑収益	25,890	0	25,890
	雑収益	25,890	0	25,890
	雑収益	25,890	0	25,890
	経 常 外 収 益 計	25,890	0	25,890
	(2) 経常外費用			
	流動資産除却損	0	0	0
	流動資産除却損	0	0	0
	商品除却損	0	0	0
	固定資産除却損	5	0	5
	固定資産除却損	5	0	5
	固定資産除却損	5	0	5
	経 常 外 費 用 計	5	0	5

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			103,808,325		103,808,325
			5,022,944		5,022,944
			57,453,340		57,453,340
			4,183,967		4,183,967
			2,914,558		2,914,558
			9,551		9,551
			346,551		346,551
			178,497		178,497
			500,104		500,104
			381,172		381,172
			411,550		411,550
			139,200		139,200
			18,638,132		18,638,132
			4,472,460		4,472,460
			357,621		357,621
			6,778,405		6,778,405
			1,199,900		1,199,900
			820,373		820,373
45,120,092	7,708,591	52,828,683	103,808,325	0	2,946,478,601
43,961,579	2,080,910	46,042,489	△ 3,925,135	0	61,103,569
0	0	0	0		25,890
0	0	0	0		25,890
0	0	0	0		25,890
0	0	0	0	0	25,890
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		5
0	0	0	0		5
0	0	0	0		5
0	0	0	0	0	5

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
	当期経常外増減額	25,885	0	25,885
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	18,886,155	125,945	19,012,100
	他会計振替額	22,056,649	0	22,056,649
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	40,942,804	125,945	41,068,749
	一般正味財産期首残高	658,398,262	27,803,931	686,202,193
	一般正味財産期末残高	699,341,066	27,929,876	727,270,942
Ⅱ	指定正味財産の部			
	受取寄附金	1,462,753	0	1,462,753
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産受取利息	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	1,462,753	0	1,462,753
	指定正味財産期首残高	8,790,978	0	8,790,978
	指定正味財産期末残高	10,253,731	0	10,253,731
Ⅲ	正味財産期末残高	709,594,797	27,929,876	737,524,673

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	0	0	25,885
43,961,579	2,080,910	46,042,489	△ 3,925,135	0	61,129,454
△ 21,059,789	△ 996,860	△ 22,056,649	0		0
6,654,702	314,998	6,969,700	0		6,969,700
16,247,088	769,052	17,016,140	△ 3,925,135	0	54,159,754
143,845,652	16,349,558	160,195,210	△ 5,540,444	0	840,856,959
160,092,740	17,118,610	177,211,350	△ 9,465,579	0	895,016,713
0	0	0	0		1,462,753
0	0	0	2,599,958		2,599,958
0	0	0	0		0
0	0	0	2,599,958	0	2,599,958
0	0	0	0	0	1,462,753
0	0	0	800,000,000	0	808,790,978
0	0	0	800,000,000	0	810,253,731
160,092,740	17,118,610	177,211,350	790,534,421	0	1,705,270,444

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、取得価額と債券金額の差が金利の調整と認められるため償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品については、先入先出法を採用している。

※ 前年度までの表示が誤っていたため、実際の評価基準に表示を改めている。

(3) 固定資産の評価方法

有形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

無形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員に対する退職給付金の支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

賞与引当金については、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

平成20年4月以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、「リース取引に関する会計基準」等を適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引にかかる方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上している。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国 公 債	712,810,562	87,003,568	101,940,418	697,873,712
定 期 預 貯 金	80,000,000	0	0	80,000,000
普 通 預 金	7,189,438	101,821,850	86,885,000	22,126,288
小 計	800,000,000	188,825,418	188,825,418	800,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	270,653,954	31,585,085	8,604,234	293,634,805
使途指定寄附積立資産	8,790,978	1,462,753	0	10,253,731
小 計	279,444,932	33,047,838	8,604,234	303,888,536
合 計	1,079,444,932	221,873,256	197,429,652	1,103,888,536

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
国 公 債	697,873,712	(697,873,712)	—	—
定 期 預 貯 金	80,000,000	(80,000,000)	—	—
普 通 預 金	22,126,288	(22,126,288)	—	—
小 計	800,000,000	(800,000,000)	—	—
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	293,634,805	—	—	(293,634,805)
使途指定寄附積立資産	10,253,731	(10,253,731)	—	—
小 計	303,888,536	(10,253,731)	—	(293,634,805)
合 計	1,103,888,536	(810,253,731)	—	(293,634,805)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
第 116 回名古屋高速道路債券	103,098,361	100,852,000	△ 2,246,361
第 138 回名古屋高速道路債券	100,000,000	97,530,000	△ 2,470,000
第 155 回名古屋高速道路債券	200,000,000	185,860,000	△ 14,140,000
R4 年度第 2 回大分県公募公債	99,883,975	93,210,000	△ 6,673,975

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
第 124 回日本高速道路保有・債務返済機構債券	107,903,108	100,030,000	△ 7,873,108
第 9 回大阪府公債	86,988,268	86,730,000	△ 258,268
第 481 回大阪府公募公債	100,000,000	93,020,000	△ 6,980,000
第 236 回共同発行市場公募地方債	49,963,270	46,575,000	△ 3,388,270
第 1 回群馬県公募公債グリーンボンド	100,000,000	93,440,000	△ 6,560,000
合 計	947,836,982	903,627,000	△ 44,209,982

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表 上の 記載区分
令和 6 年度 世田谷区補助金	世田谷区	0	1,317,868,897	1,317,868,897	0	
令和 6 年度劇場・音楽堂 等機能強化推進事業(総 合支援事業)	独立行政法人 日本芸術文化 振興会	0	45,994,000	45,994,000	0	
令和 6 年度劇場・音楽堂 等機能強化推進事業(バリ アフリー対応)		0	1,910,064	1,910,064	0	
令和 6 年度劇場・音楽堂 等機能強化推進事業(多 言語対応)		0	89,936	89,936	0	
文化施設による高付加価 値化機能強化支援事業 (文化芸術活動基盤強化 基金)		0	3,500,000	3,500,000	0	
令和 6 年度劇場・音楽堂 等における子供舞台芸術 鑑賞体験支援事業	文化庁	0	10,530,000	10,530,000	0	
令和 6 年度学校における 文化芸術鑑賞・体験推進 事業(ユニバーサル公演)		0	7,173,958	7,173,958	0	
令和 6 年度文化芸術振興 費補助金(Innovate MUSEUM 事業)		0	2,642,435	2,642,435	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和6年度地域の文化・芸術活動助成事業	一般財団法人 地域創造	0	5,000,000	5,000,000	0	
令和6年度地域の文化・芸術活動助成事業(研修プログラム)		0	1,294,000	1,294,000	0	
令和6年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業	東京都	0	1,331,000	1,331,000	0	
民間助成金	19件	0	23,300,500	23,300,500	0	
合 計		0	1,420,634,790	1,420,634,790	0	

7. 関連当事者との取引の内容
なし

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位:円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,599,958
合 計	2,599,958

9. その他
平成23年4月1日に公益財団法人に移行している。

3. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	56,926,662	63,848,102	56,926,662		63,848,102

退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	270,653,954	31,585,085	8,604,234		293,634,805

4. 財産目録

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	6,726,053
	預貯金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	運転資金として	311,335,942
		三菱UFJ銀行成城支店		260,646
		みずほ銀行世田谷支店		23,466,751
		三井住友銀行自由が丘支店		101,833,142
		昭和信用金庫本店		137,771
		昭和信用金庫三軒茶屋支店		564,494
		世田谷信用金庫用賀支店		45,168,480
		世田谷信用金庫駒沢支店		757,526
		世田谷信用金庫烏山支店		1,768,846
		世田谷桜丘三郵便局		1,422,834
		東京中央農協千歳支店		2,150,947
		世田谷目黒農協本店		111,351,912
		ゆうちょ銀行		634,255
	未収入金		区受託料、助成金、チケット収入など	199,889,754
	商品	各館ショップ等	ミュージアムショップ等の商品	35,350,014
	貯蔵品	手元保管	収入印紙、郵券等	393,010
	繰延事業費	クラウド会計システム	将来に効果が及ぶ費用の繰延	16,500,000
	前払金		翌年度諸経費等	7,691,688
	立替金		展覧会経費立替	108,680
流動資産合計				867,512,745
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	第116回名古屋高速道路債券	公益目的事業に必要な法人管理業務の財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	103,098,361
		第138回名古屋高速道路債券		100,000,000
		第155回名古屋高速道路債券		200,000,000
		令和4年度第2回大分県公募公債		99,883,975
		第124回日本高速道路保有・債務返済機構債券		107,903,108
		第9回大阪府公債		86,988,268
	定期預貯金	東京中央農協千歳支店	公益目的事業に必要な法人管理業務の財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	20,000,000
		世田谷目黒農協本店		50,000,000
		昭和信用金庫本店		10,000,000
	普通預金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に必要な法人管理業務の財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	22,126,288

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位:円) 金額
特定資産	退職給付引当資産	・有価証券 第481回大阪府公募公債 第236回共同発行市場公募地方債 第1回群馬県公募公債グリーンボンド	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	100,000,000
		・定期預金 東京中央農協千歳支店		49,963,270
		・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店		100,000,000
				10,000,000
				33,671,535
特定資産	使途指定寄付積立資産	・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	せたがや文化財団の自主事業のための資金として管理	10,253,731
その他の固定資産	建物附属設備	スポットライト、配線設備等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：97.9%	33,450,047
			収益事業：2.1%	717,519
	器具備品	映像・音響システム、展示ケース等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：98.0%	44,021,322
			収益事業：2.0%	898,394
	リース資産	サーバー、パソコン等一式	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：97.6%	30,180,929
			収益事業：0.4%	123,692
			管理費：2.0%	618,462
	ソフトウェア	財団会計システム、美術館・文学館収蔵品管理システム等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：94.9%	16,926,109
			管理費：5.1%	909,622
	長期前払費用	令和8年度実施事業に係る費用	公益目的事業の用に	881,830
	敷金・保証金	駐車場保証金	公益目的事業の用に供している	60,000
	大規模事業等実施積立金	・定期預金 東京中央農協千歳支店 ・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に充当する積立資産	16,500,000
				15,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位:円) 金額	
その他の 固定資産	経営安定化積立金	・ 定期預金 昭和信用金庫本店 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店	公益目的事業に充当 する積立資産	70,000,000 20,000,000 120,000,000	
	事故対策積立金	・ 普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に充当 する積立資産	5,000,000	
		・ 定期預金 世田谷信用金庫用賀支店 世田谷信用金庫烏山支店		60,000,000 30,000,000	
	固定資産合計			1,569,176,462	
資産合計				2,436,689,207	
(流動負債)	未払金		今年度事業費等	231,214,682	
	前受金		未払法人税等	6,969,700	
			未払消費税等	13,440,000	
			未払社会保険料等	7,553,789	
			チケット払い戻し分	165,262	
			翌年度事業チケット 収入、翌年度分施設 利用料	18,553,690	
	預り金		源泉所得税、住民 税、社会保険料等	8,860,367	
			チケット代	2,364,400	
			区への補助金返還額	40,550,103	
			受託販売商品の業者 支払い分等	12,553,892	
賞与引当金		職員の賞与支払いに 備えた引当金	63,848,102		
リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年以内に支 払うもの)	7,701,381		
流動負債合計			413,775,368		
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金 支払いに備えた引当 金	293,634,805	
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年を超えて 支払うもの)	24,008,590	
固定負債合計			317,643,395		
負債合計				731,418,763	
正味財産				1,705,270,444	

監 査 報 告 書

公益財団法人せたがや文化財団
理事長 青柳 正規 殿

令和7年5月23日

公益財団法人せたがや文化財団

監 事 山 本 鳩 子

監 事 大 澤 正 文

私たち監事は、当財団の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和7(2025)年6月30日発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます